



低雑音直流電源  
LOW NOISE DC POWER SUPPLY

**LP5392**

---

取扱説明書



DA00047245-003

低雜音直流電源  
LOW NOISE DC POWER SUPPLY

**LP5392**  
取扱説明書



## —— はじめに ——

このたびは、LP5392 低雑音直流電源をお買い求めいただき、ありがとうございます。

電気製品を安全に正しくお使いいただくために、まず、次のページの「安全にお使いいただくために」をお読みください。

### ●この説明書の注意記号について

この説明書では、次の注意記号を使用しています。機器の使用者の安全のため、また、機器の損傷を防ぐためにも、この注意記号の内容は必ず守ってください。

---

#### **⚠ 警 告**

機器の取扱いにおいて、使用者が死亡または重傷を負うおそれがある場合、その危険を避けるための情報を記載しております。

---

---

#### **⚠ 注 意**

機器の取扱いにおいて、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じるおそれを避けるための情報を記載しております。

---

### ●この説明書の章構成は次のようになっています。

初めて使用する方は、「1. 概 説」からお読みください。

#### 1. 概 説

本製品の概要・特長および簡単な動作原理を説明しています。

#### 2. 使用前の準備

設置や操作の前にはしなければならない大事な準備作業について説明しています。

#### 3. パネル面と基本操作の説明

本製品の正面パネル、背面パネルにある機能と基本操作について説明しています。

#### 4. 保 守

保管・再梱包、故障と思われるときについて説明しています。

#### 5. 仕 様

仕様(機能・性能)について記載しています。

#### 6. 標準データ

代表的な性能の標準的なデータを参考として記載しています。

## ———— 安全にお使いいただくために ————

安全にご使用いただくため、下記の警告や注意事項は必ず守ってください。

これらの警告や注意事項を守らずに発生した損害については、当社はその責任と保証を負いかねますのでご了承ください。

なお、この製品は、JIS や IEC 規格の絶縁基準 クラス I 機器（保護導体端子付き）です。

### ●取扱説明書の内容は必ず守ってください。

取扱説明書には、この製品を安全に操作・使用するための内容を記載しています。

ご使用に当たっては、この説明書を必ず最初にお読みください。

この取扱説明書に記載されているすべての警告事項は、重大事故に結びつく危険を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

### ●必ず接地してください。

感電事故を防止するため、必ず「電気設備技術基準 D 種(100 Ω以下)接地工事」以上の接地に確実に接続してください。

3 ピン電源プラグを、保護接地コンタクトを持った電源コンセントに接続すれば、この製品は自動的に接地されます。

この製品には、3 ピン-2 ピン変換アダプタを添付しておりません。ご自身で 3 ピン-2 ピン変換アダプタを使用するときは、必ず変換アダプタの接地線をコンセントのそばの接地端子に接続してください。

### ●電源電圧を確認してください。

この製品は、取扱説明書の“接地および電源接続”の項に記載の電源電圧で動作します。

この製品は、電源電圧切り替え機能があります。電源接続の前に、設定した電源電圧がコンセントの電圧に適合していることを確認してください。

### ●ヒューズの定格を守ってください。

発火などのおそれがあります。取扱説明書の“接地および電源接続”の項に規定された定格のヒューズを使用してください。

また、ヒューズを交換するときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

### ●おかしいと思ったら

この製品から煙が出てきたり、変な臭いや音がしたら、直ちに電源スイッチをオフにして、電源コードおよび出力ケーブルを抜いて使用を中止してください。

このような異常が発生したら、修理が完了するまで使用できないようにして、直ちに当社または当社代理店にご連絡ください。

### ●ガス雰囲気中では使用しないでください。

爆発などの危険性があります。

●カバーは取り外さないでください。

この製品の内部には、高電圧の箇所があります。カバーは絶対に取り外さないでください。内部を点検する必要があるときでも、当社の認定したサービス技術者以外は内部に触れないでください。

●改造はしないでください。

改造は、絶対に行わないでください。新たな危険が発生したり、故障時に修理をお断りすることがあります。

●製品に水が入らないよう、また濡らさないようご注意ください。

濡らしたまま使用すると、感電および火災の原因になります。水などが入った場合は、直ちに電源コードを抜いて、当社または当社代理店にご連絡ください。

●近くに雷が発生したときは、電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。

雷によっては、感電、火災および故障の原因になります。

●安全関係の記号

製品本体や取扱説明書で使用している安全上の記号の一般的な定義は次のとおりです。



取扱説明書参照記号

使用者に危険の潜在を知らせるとともに、取扱説明書を参照する必要があります。箇所に表示されます。



感電の危険を示す記号

特定の条件下で、感電の可能性のある箇所に表示されます。



警告

警告記号

機器の取扱いにおいて、使用者が死亡または重傷を負うおそれがある場合、その危険を避けるための情報を記載しております。



注意

注意記号

機器の取扱いにおいて、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じるおそれを避けるための情報を記載しております。

●その他の記号



電源スイッチのオン位置を示します。



電源スイッチのオフ位置を示します。



コネクタの外部導体が、ケースに接続されていることを示します。



コネクタの外部導体が、出力 GND に接続されていることを示します。

●廃棄処分時のお願い

この製品は電池を含んでおらず、RoHS 指令 (EU) に対応して設計されております。お使いの地域の法令等に当たって廃棄してください。

---

# 目次

---

	ページ
はじめに	i
安全にお使いいただくために	ii
<b>1. 概説</b> .....	<b>1-1</b>
<b>1.1 概要</b> .....	<b>1-1</b>
<b>1.2 特長</b> .....	<b>1-1</b>
<b>1.3 動作原理</b> .....	<b>1-1</b>
<b>2. 使用前の準備</b> .....	<b>2-1</b>
<b>2.1 使用前の確認</b> .....	<b>2-1</b>
<b>2.2 設置</b> .....	<b>2-3</b>
<b>2.3 接地および電源接続</b> .....	<b>2-7</b>
<b>2.4 簡単な動作チェック</b> .....	<b>2-9</b>
<b>2.5 点検</b> .....	<b>2-9</b>
<b>3. パネル面と基本操作の説明</b> .....	<b>3-1</b>
<b>3.1 パネル各部の名称と動作</b> .....	<b>3-1</b>
<b>3.1.1 LP5392 のパネル各部の名称と動作</b> .....	<b>3-1</b>
<b>3.1.2 BNC アダプタのパネル各部の名称と動作</b> .....	<b>3-3</b>
<b>3.1.3 バインディングポストアダプタのパネル各部の名称と動作</b> .....	<b>3-4</b>
<b>3.2 出力コネクタと GND</b> .....	<b>3-5</b>
<b>3.3 オプションケーブルの端子と GND</b> .....	<b>3-6</b>
<b>3.4 出力接続</b> .....	<b>3-8</b>
<b>3.4.1 SA-600 シリーズとの接続</b> .....	<b>3-9</b>
<b>3.4.2 SA-230F5 を除く SA-200, 400 シリーズとの接続</b> .....	<b>3-10</b>
<b>3.4.3 SA-230F5 との接続</b> .....	<b>3-11</b>
<b>3.4.4 評価キット PA-001-2179 との接続</b> .....	<b>3-12</b>
<b>3.4.5 BNC アダプタとの接続</b> .....	<b>3-13</b>
<b>3.4.6 バインディングポストアダプタとの接続</b> .....	<b>3-14</b>
<b>3.5 電源の投入とウォームアップ時間について</b> .....	<b>3-15</b>
<b>3.6 保護動作と表示</b> .....	<b>3-15</b>
<b>3.6.1 過電流保護</b> .....	<b>3-15</b>
<b>3.6.2 過熱保護</b> .....	<b>3-15</b>
<b>4. 保守</b> .....	<b>4-1</b>
<b>4.1 はじめに</b> .....	<b>4-1</b>
<b>4.2 日常の手入れ</b> .....	<b>4-1</b>
<b>4.3 保管・再梱包・輸送</b> .....	<b>4-1</b>
<b>4.4 故障と思われるとき</b> .....	<b>4-2</b>
<b>5. 仕様</b> .....	<b>5-1</b>
<b>5.1 LP5392 の仕様</b> .....	<b>5-1</b>



5.1.1	方式 .....	5-1
5.1.2	出力 .....	5-1
5.1.3	入力 .....	5-1
5.1.4	その他.....	5-2
5.2	BNCアダプタの仕様 .....	5-4
5.2.1	定格 .....	5-4
5.2.2	環境条件 .....	5-4
5.2.3	寸法, 質量 .....	5-4
5.2.4	規格 .....	5-4
5.2.5	回路図.....	5-4
5.3	バイディングポストアダプタの仕様 .....	5-5
5.3.1	定格 .....	5-5
5.3.2	環境条件 .....	5-5
5.3.3	寸法, 質量 .....	5-5
5.3.4	規格 .....	5-5
5.3.5	回路図.....	5-5
5.4	外観図.....	5-6
5.4.1	LP5392の外観図 .....	5-6
5.4.2	BNCアダプタの外観図.....	5-7
5.4.3	バイディングポストアダプタの外観図.....	5-8
6.	標準データ .....	6-1
6.1	標準データについて .....	6-1
6.2	出力雑音電圧波形.....	6-1
6.3	出力雑音電圧密度 周波数特性.....	6-2
6.4	長時間ドリフト特性 .....	6-2
6.5	温度ドリフト特性.....	6-3

保証

---

## 付 図 ・ 付 表

---

	ページ
図 1-1 ブロック図 .....	1-2
図 2-1 ラックマウントキット (EIA, 4 台用) 外観図 .....	2-4
図 2-2 ラックマウントキット (JIS, 4 台用) 外観図 .....	2-5
図 2-3 ヒューズホルダの外観図 .....	2-8
図 3-1 LP5392 の正面・背面パネル図 .....	3-2
図 3-2 BNC アダプタの正面・背面パネル図 .....	3-3
図 3-3 バインディングポストアダプタの正面・背面パネル図 .....	3-4
図 3-4 出力コネクタと GND の接続 .....	3-5
図 3-5 オプションケーブルの端子と出力 GND の接続 .....	3-6
図 3-6 SA-600 シリーズとの接続 .....	3-9
図 3-7 SA-230F5 を除く SA-200, 400 シリーズとの接続 .....	3-10
図 3-8 SA-230F5 との接続 .....	3-11
図 3-9 評価キット PA-001-2179 との接続 .....	3-12
図 3-10 BNC アダプタとの接続 .....	3-13
図 3-11 バインディングポストアダプタとの接続 .....	3-14
図 5-1 ヒロセ電機製 HR10-7R-4S(73) のピン番号と接続 .....	5-1
図 5-2 温湿度範囲説明図 .....	5-2
図 5-3 BNC アダプタの回路図 .....	5-4
図 5-4 バインディングポストアダプタの回路図 .....	5-5
図 5-5 LP5392 の外観図 .....	5-6
図 5-6 BNC アダプタの外観図 .....	5-7
図 5-7 バインディングポストアダプタの外観図 .....	5-8
図 6-1 出力雑音電圧波形 (+15V 出力, 定格負荷, 帯域幅 10Hz~20MHz) .....	6-1
図 6-2 出力雑音電圧波形 (-15V 出力, 定格負荷, 帯域幅 10Hz~20MHz) .....	6-1
図 6-3 出力雑音電圧密度 周波数特性 (+15V 出力, 定格負荷) .....	6-2
図 6-4 長時間ドリフト (定格負荷, 電源 ON から 30 分後の出力電圧基準) .....	6-2
図 6-5 温度ドリフト特性 (定格負荷) .....	6-3
表 2-1 構成表 .....	2-1
表 4-1 故障と思われるときの対処表 .....	4-2

# 1. 概 説

1.1	概 要.....	1-1
1.2	特 長.....	1-1
1.3	動作原理.....	1-1

## 1.1 概要

「LP5392」は、出力雑音  $10 \mu\text{Vrms}$  以下(typ.)(10 Hz～20 MHz 帯域幅)、出力電圧安定度  $\pm 20 \text{ ppm}/^\circ\text{C}$ (typ.)を実現した低雑音直流電源です。

出力電圧は正面パネルの調整器にて  $\pm 12 \text{ V} \sim \pm 15 \text{ V}$  の範囲で調整可能、出力電流は最大  $\pm 0.1 \text{ A}$  です。

## 1.2 特長

- a) 出力雑音は  $10 \mu\text{Vrms}$  以下(typ.)(10 Hz～20 MHz 帯域幅)と低雑音です。
- b) 出力電圧安定度は  $\pm 20 \text{ ppm}/^\circ\text{C}$ (typ.)と高安定度です。
- c) 出力コネクタは SA-600 シリーズと同じヒロセ電機製 HR10 シリーズの HR10-7R-4S(73)型を搭載しています。
- d) 正面パネルにて、出力 ON/OFF ができます。
- e) 正面パネルの調整器にて、出力電圧を  $\pm 12 \text{ V} \sim \pm 15 \text{ V}$  に調整することができます。
- f) 出力は筐体から絶縁 ( $\pm 42 \text{ Vpk}$  以下) されているため、筐体 GND による GND ループの問題が発生しません (2重シールド採用)。
- g) 低雑音増幅器 SA シリーズの電源として最適です。

## 1.3 動作原理

電源電圧はトランスにより絶縁、降圧整流後、シリーズレギュレータによって安定な直流電圧に変換されます。正面パネルにある調整器により、出力は  $\pm 12 \text{ V} \sim \pm 15 \text{ V}$  の範囲で調整可能です。

レギュレータで安定化された出力は、前面パネルの OUTPUT スイッチにて出力の ON/OFF を切り替えることができます。

出力 GND は筐体 GND と  $10 \text{ M}\Omega$  で接続しています。

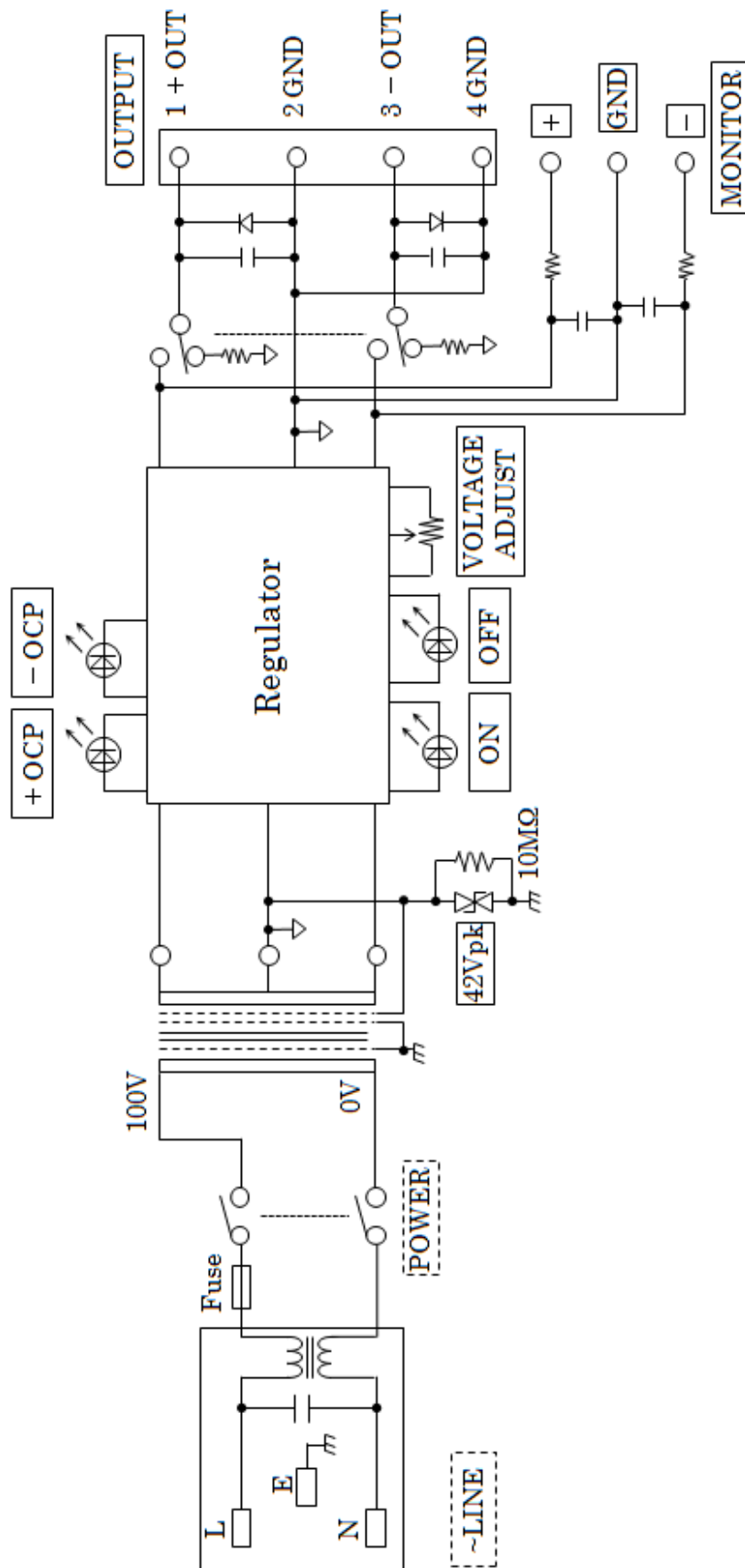


図 1-1 ブロック図



## 2. 使用前の準備

2.1	使用前の確認 .....	2-1
2.2	設置 .....	2-3
2.3	接地および電源接続 .....	2-7
2.4	簡単な動作チェック .....	2-9
2.5	点検 .....	2-9

## 2.1 使用前の確認

### ■安全の確認

使用者の安全性を確保するため、取扱説明書の次の項を必ず最初にお読みください。

- [安全にお使いいただくために] (この取扱説明書の最初の方に記載されています。)
- [2.3 接地および電源接続]

### ■外観および付属品の確認

梱包箱の外側に異常な様子(傷やへこみなど)が見られましたら、製品を箱から取り出すときに、製品に影響していないかどうか十分に確認してください。

梱包箱から中身を取り出しましたら内容物を確認してください。

製品の外観に異常な傷があるときや付属品が不足しているときは、当社または当社代理店にご連絡ください。

#### ●外観チェック

パネル面やコネクタなどに傷やへこみがないことを確認してください。

#### ●製品構成のチェック

この製品の構成は、次のとおりです。数量不足や傷がないことを確認してください。

表 2-1 構成表

● 本 体	1
● 付属品	
取扱説明書	1
電源コードセット (2 m, 3 極)	1
ヒューズ 0.315 A / 250 V タイムラグ	1

### ⚠ 警 告

この製品の内部には、高電圧の箇所があります。カバーは絶対に取り外さないでください。内部を点検する必要があるときでも、当社の認定したサービス技術者以外は内部に触れないでください。



### ●オプション

オプションとして、下記の出カケーブル、ラックマウントキット、アダプタがあります。オプションは別売りとなっておりますので、使用する構成に合わせてお求めの上、ご使用ください。

PA-001-2372 : 出カケーブル A (SA-600 シリーズ用 2 m)

PA-001-2373 : 出カケーブル B (SA-230F5 を除く SA-200,400 シリーズ用 2 m)

PA-001-2374 : 出カケーブル C (SA-230F5 用 2 m)

PA-001-2590 : BNC アダプタ

PA-001-2591 : バインディングポストアダプタ

PA-001-2642 : ラックマウントキット (EIA, 4 台用)

PA-001-2643 : ラックマウントキット (JIS, 4 台用)

## 2.2 設置

### ■設置位置

底面のゴム足が、4個とも机などの平らな面に乗るように置いてください。

### ■ラックマウント

この製品は、ラックマウントキット（別売）を取り付けると、19インチ IEC ラック、EIA規格ラックまたは JIS 規格ラックに収納できます。ラックマウントキットは、JIS 規格ラック用と EIA 規格ラック用が用意されています。

まず、「図 2-1 ラックマウントキット（EIA, 4 台用）外観図」～「図 2-2 ラックマウントキット（JIS, 4 台用）外観図」のようにラックマウントキットを取り付けてから、ラックに収納してください。

ラックに収納するときは、以下の点にご注意ください。

- 必ずラックにレールなどを設置して、この製品を支えてください。
- この製品を密閉されたラックに収納すると、温度が上がって故障の原因になります。  
ラックに十分な通風口を設けるか、ファンでラック内部を強制空冷してください。
- ほこり、粉塵が多い場所や湿度の高い場所はさけてください。  
絶縁抵抗が低下して漏れ電流が増加し、性能劣化の原因になります。

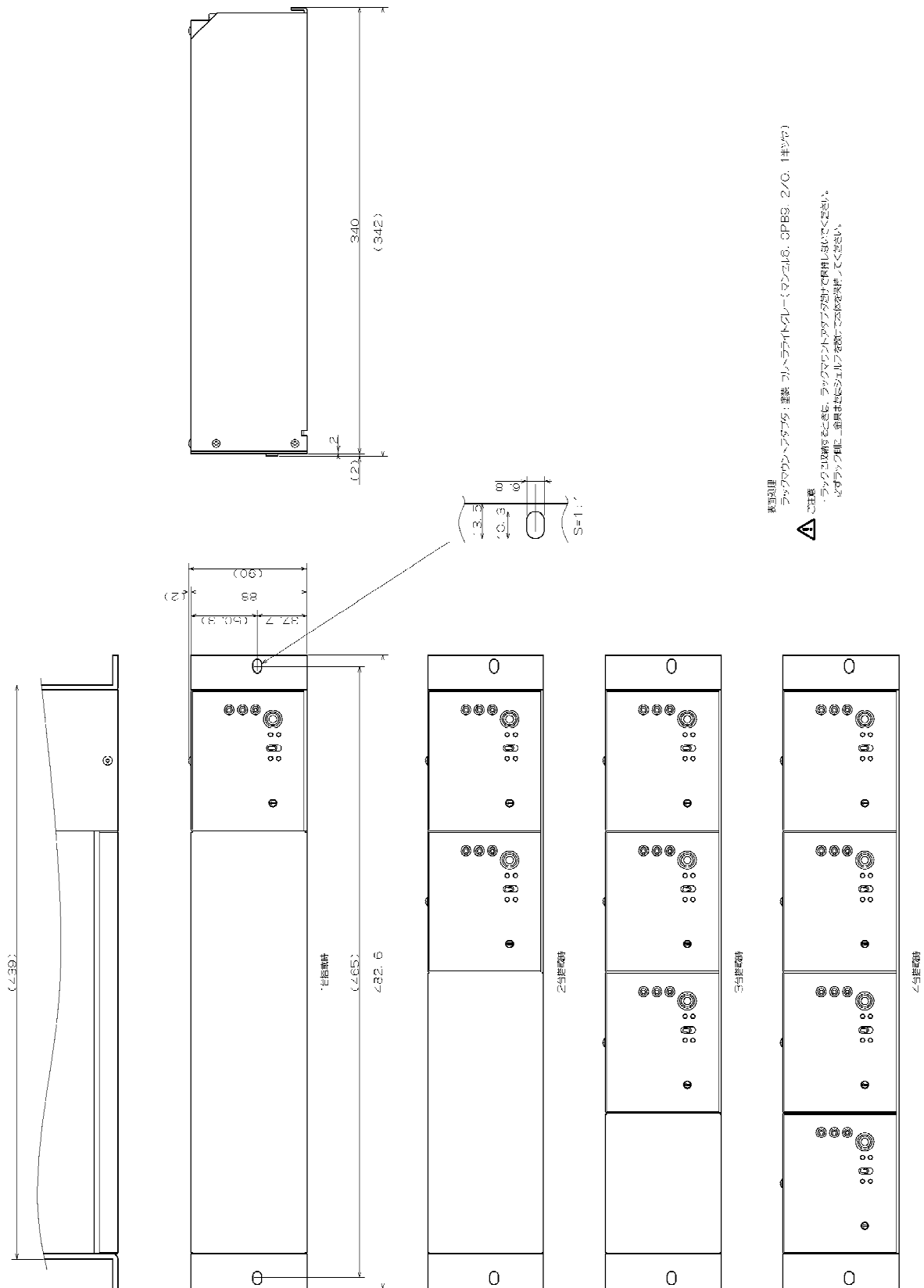


図 2-1 ラックマウントキット (EIA, 4 台用) 外観図

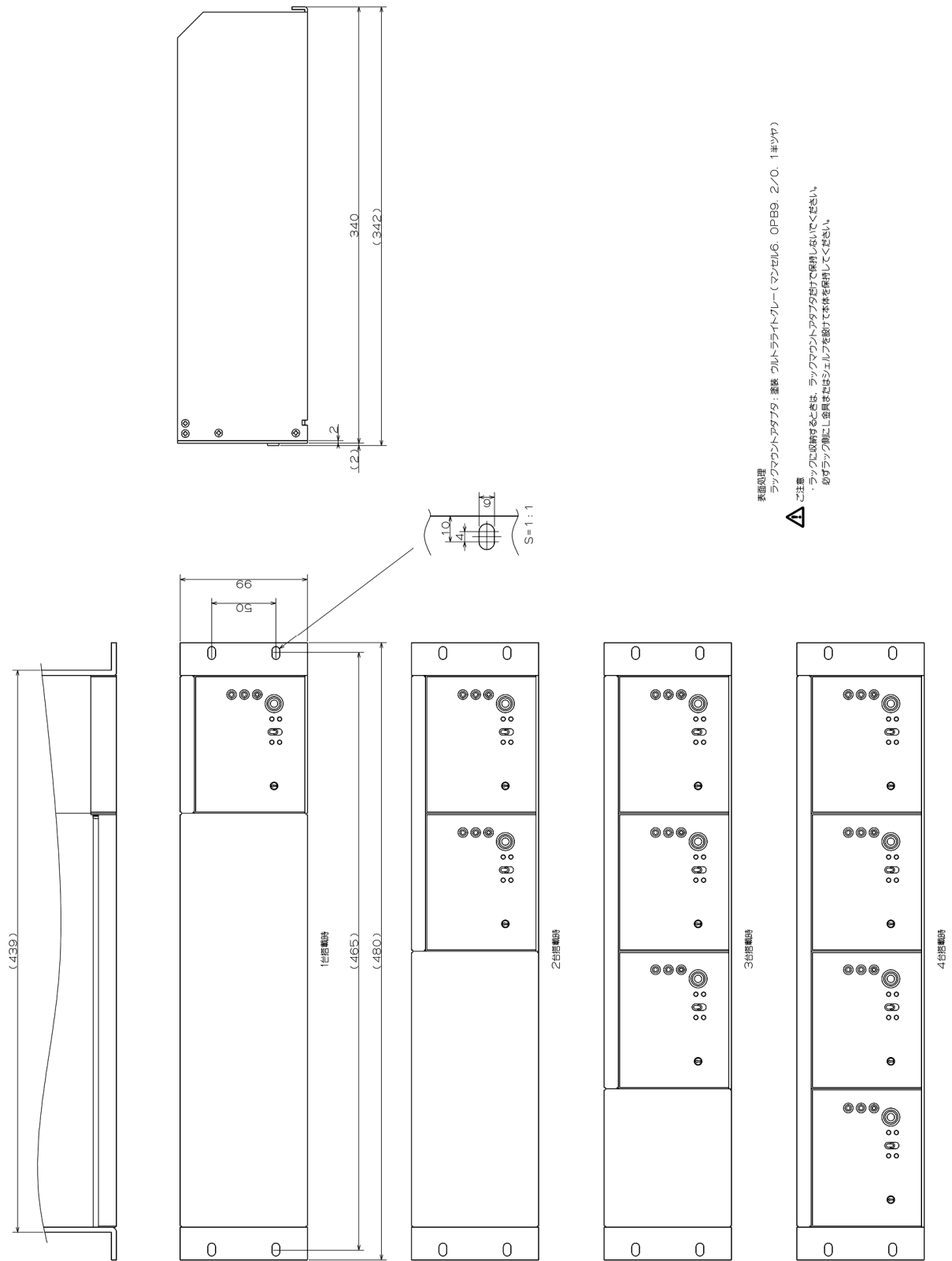


図 2-2 ラックマウントキット (JIS, 4 台用) 外観図

### ■ 設置場所の条件

- 温度及び湿度範囲は、次の条件に合う場所に設置してください。

動作条件： 0 ～ 50 °C, 5 ～ 85 %RH

保管条件： -10 ～ 60 °C, 5 ～ 95 %RH

ただし、結露のない状態で使用してください。また、絶対湿度による制限条件は、仕様の項をご覧ください。

- 高度 2000 m 以下の場所に設置してください。

- 次のような場所には設置しないでください。

- ・ 可燃性ガスのある場所

爆発の危険があります。絶対に設置したり使用したりしないでください。

- ・ 屋外や直射日光の当たる場所，火気や熱の発生源の近く

この製品の性能を満足しなかったり，故障の原因になります。

- ・ 腐食性ガスや水気，ほこり，ちりのある場所，湿度の高い場所

この製品が腐食したり，故障の原因になります。

- ・ 電磁界発生源や高電圧機器，動力線の近く

雑音悪化の原因になります。

- ・ 振動の多い場所

雑音悪化や故障の原因になります。

## 2.3 接地および電源接続

■必ず接地してください。

### ⚠ 警告

感電事故を防止するため、必ず「電気設備技術基準 D種(100 Ω以下)接地工事」以上の接地に確実に接続してください。

3ピン電源プラグを、保護接地コンタクトを持った電源コンセントに接続すれば、この製品は自動的に接地されます。

この製品には、3ピン-2ピン変換アダプタを添付していません。ご自身で3ピン-2ピン変換アダプタを使用するときは、必ず変換アダプタの接地線をコンセントのそばの接地端子に接続してください。

■この製品の電源条件は次のとおりです。

電圧範囲：AC 100 V ±10 %

周波数範囲：50/60 Hz ±2 Hz

消費電力：25 VA 以下

過電圧カテゴリ：II

■電源は次の手順で接続します。

- 1)接続する商用電源電圧が、この製品の電圧範囲内であることを確認する。
- 2)この製品の電源スイッチをOFFにする。
- 3)この製品の背面電源インレットに電源コードを差し込む。
- 4)電源コードのプラグを保護接地コンタクトを持った電源コンセントに差し込む。

### ⚠ 注意

この製品で使用している電源コードは、電気用品安全法適合品で、国内専用です。定格電圧はAC 125 Vで、耐電圧はAC 1250 Vrmsです。AC 125 Vを超える電圧および国外では使用できません。

なお、付属品の電源コードセットは、この製品の専用品です。他の製品および用途には使用しないでください。

商用電源との接続には、必ず付属品の電源コードを使用してください。

なお、本体だけの耐電圧は、AC 1500 Vrmsです。

■電源コードは、緊急時に商用電源からこの製品を切り離すために使用できます。

### 警告

電源コネクタを本体インレットから抜くことができるように、インレット周囲に十分な空間を確保するか、電源プラグをコンセントから抜くことができるように、容易に手の届く場所にあるコンセントを使用し、コンセント周囲に十分な空間を確保してください。

■電源ヒューズは定格を守ってください。

この製品の電源ヒューズの定格は、下記のとおりです。

タイムラグ 0.315 A

定格電圧 250 V，φ 5.2×20 mm です。

ヒューズを交換するときは電源コードを抜いて、背面パネルのヒューズホルダをマイナスドライバで左に回して引き抜きます。ヒューズを交換した後、ヒューズホルダを差し込み、ドライバで右に回してロックします。

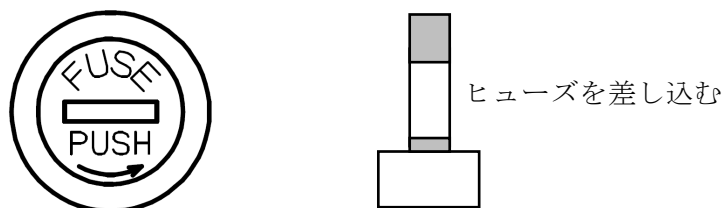


図 2-3 ヒューズホルダの外観図

### 警告

発火などのおそれがあります。ヒューズを交換するときは、同一定格のものを使用してください。

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

### 注意

電源コンセントの電圧が仕様の電源電圧範囲内であることを確認してから、電源を接続してください。この製品を損傷する原因になることがあります。

附属品の電源コードセットは、電気用品安全法適合品で、日本国内専用です。AC 125 Vを超える電源電圧、国外、他の機器での使用はできません。

## 2.4 簡単な動作チェック

この製品の電源を入れ、OUTPUT OFF LED が点灯すること、+OCP LED と -OCP LED が消灯していることを確認します。

また、何も出力に接続しない状態で、OUTPUT スイッチを ON にして、OUTPUT ON LED が点灯すること、+OCP LED と -OCP LED が消灯していることを確認します。

出力モニタ端子に電圧計を接続し、VOLTAGE ADJUST のダイヤルが右回し切りの時、出力電圧が  $\pm 15 \pm 0.15$  V 以内になっていることを確認します。同様に VOLTAGE ADJUST のダイヤルが左回し切りの時、出力電圧が  $\pm 12 \pm 0.12$  V 以内になっていることを確認します。

以上で簡単な動作チェックは完了です。

### 警告

機器から煙が出たり、臭いや音がしたら

直ちに電源コードをコンセントから引き抜いて、修理が完了するまで使用できないように表示してください。

## 2.5 点検

この製品は、使用環境や使用頻度にもよりますが、1年に1回は定期点検を行うことをお勧めします。

点検が必要なときは、当社または当社代理店にご連絡ください。

点検、校正、調整は有償にて承っております。



## 3. パネル面と基本操作の説明

3.1	パネル各部の名称と動作.....	3-1
3.1.1	LP5392 のパネル各部の名称と動作.....	3-1
3.1.2	BNC アダプタのパネル各部の名称と動作.....	3-3
3.1.3	バイディングポストアダプタのパネル各部の名称と動作.....	3-4
3.2	出力コネクタと GND.....	3-5
3.3	オプションケーブルの端子と GND .....	3-6
3.4	出力接続.....	3-8
3.4.1	SA-600 シリーズとの接続.....	3-9
3.4.2	SA-230F5 を除く SA-200, 400 シリーズとの接続.....	3-10
3.4.3	SA-230F5 との接続.....	3-11
3.4.4	評価キット PA-001-2179 との接続.....	3-12
3.4.5	BNC アダプタとの接続.....	3-13
3.4.6	バイディングポストアダプタとの接続.....	3-14
3.5	電源の投入とウォームアップ時間について.....	3-15
3.6	保護動作と表示.....	3-15
3.6.1	過電流保護.....	3-15
3.6.2	過熱保護.....	3-15

## 3.1 パネル各部の名称と動作

### 3.1.1 LP5392 のパネル各部の名称と動作

「図 3-1 LP5392 の正面・背面パネル図」をご覧ください。

#### ■正面パネル

##### ① VOLTAGE ADJUST

出力電圧を調整するための調整器です。調整器を右回し切りにすると±15 V に、左回し切りにすると±12 V に設定が可能です。

調整時、先端の合わないドライバを使用したり、無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

##### ② OUTPUT ON/OFF LED

出力電圧の ON/OFF 状態を表示する LED です。また、過熱保護機能が動作したときは、OFF の LED が点滅します。

##### ③ OUTPUT スイッチ

出力の ON/OFF を切り替えるスイッチです。スイッチを上げると出力が ON し、スイッチを下げると出力が OFF になります。

切り替え時に、無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

##### ④ +OCP LED, -OCP LED

出力電流約 150 mA で、過電流保護機能が動作して点灯します。正負独立して動作します。

##### ⑤ 出力コネクタ

出力のコネクタです。コネクタにはヒロセ電機製 HR10-7R-4S(73)を使用しています。接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

##### ⑥ MONITOR 端子

出力電圧のモニタ端子(適応ピン径 2 mm)です。モニタ端子の出力抵抗は約 1 k $\Omega$ なので、入力抵抗 1 M $\Omega$ 以上のマルチメータ等で出力電圧をモニタすることをお奨めします(入力抵抗 1 M $\Omega$ で誤差 0.1 %, 10 M $\Omega$ で誤差 0.01 %)。

接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

#### ■背面パネル

##### ⑦ POWER スイッチ

電源を ON/OFF するスイッチです。I 側が ON, O 側が OFF です。

切り替え時に、無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

### 3.1 パネル各部の名称と動作

#### ⑧ 電源インレット

電源を接続するためのコネクタです。AC 100 V の電源電圧を印加してください。また、3極電源の接地ピンが保護接地端子となっていますので、必ず接地してください。

#### ⑨ ヒューズホルダ

ヒューズが内蔵されているホルダです。

ヒューズの定格は遵守してください（2.3 節参照）。ヒューズを交換する際は、必ず電源コードを抜いた状態で行なってください。

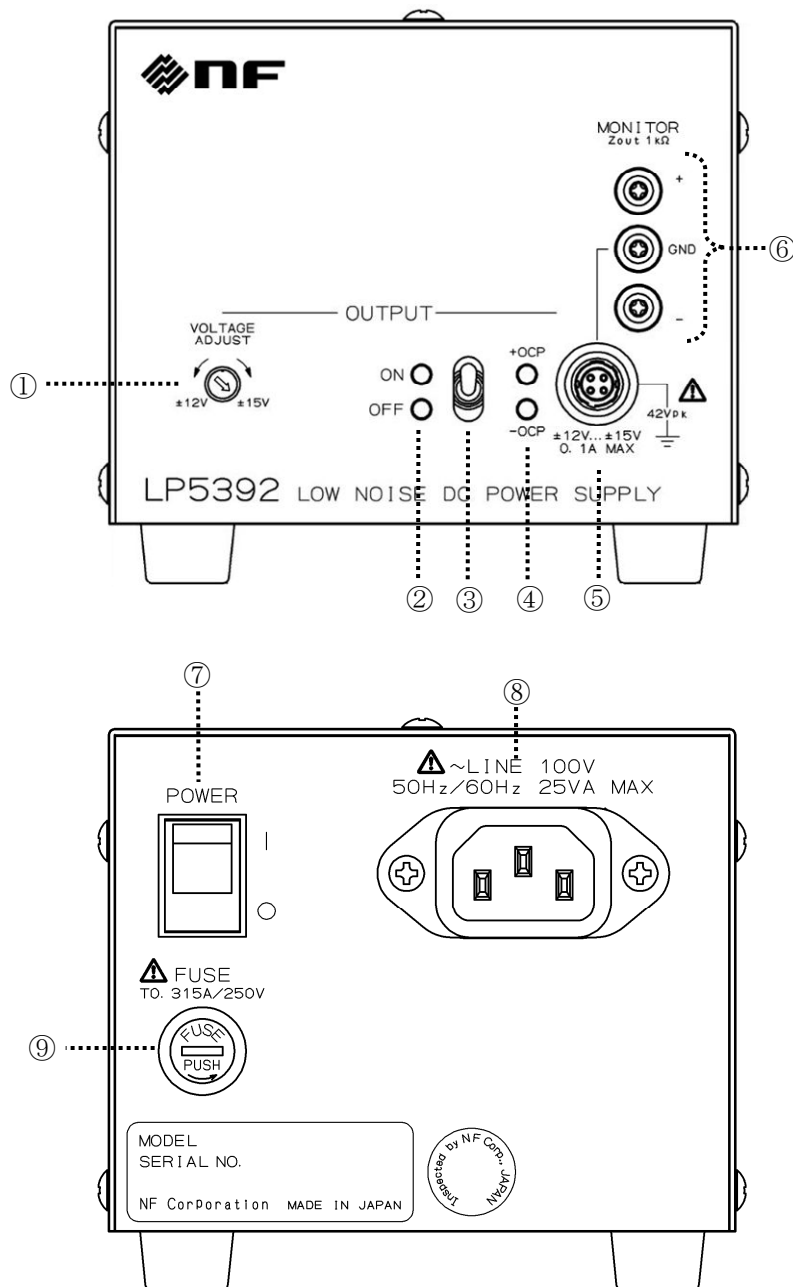


図 3-1 LP5392 の正面・背面パネル図

## 3.1.2 BNC アダプタのパネル各部の名称と動作

オプションとして、LP シリーズ電源の出力コネクタを BNC コネクタ出力に変換する BNC アダプタ (PA-001-2590) を用意しています。

「図 3-2 BNC アダプタの正面・背面パネル図」をご覧ください。

## ■正面パネル

## ① DC INPUT

入力端子です。LP シリーズ電源の出力とオプションの出力ケーブル A で接続します。コネクタにはヒロセ電機製 HR10-7R-4P(73)を使用しています。接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

## ② +OUTPUT コネクタ

正側の出力コネクタです。コネクタには BNC コネクタを使用しています。接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。BNC コネクタの GND は筐体に接続されています。

## ③ -OUTPUT コネクタ

負側の出力コネクタです。コネクタには BNC コネクタを使用しています。接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。BNC コネクタの GND は筐体に接続されています。

## ■背面パネル

## ④ (本体取付用ねじ穴)

ボトムプレートを外して本器を直接筐体等に固定する場合は、このねじ穴(M3)を使用してください(筐体に対するねじの挿入長は 5 mm 以下にしてください)。

ボトムプレートを外した場合、本体と取付対象が電氣的に接続されることに注意してください。ボトムプレートは、プラスチックの M3×8 のねじを使用して本体に取り付けられています。

## ⑤ (取付穴)

ボトムプレートを付けた状態で本器を筐体等に固定するための取付穴(M3)です。本器と取付対象を電氣的に絶縁して取り付けることができます。

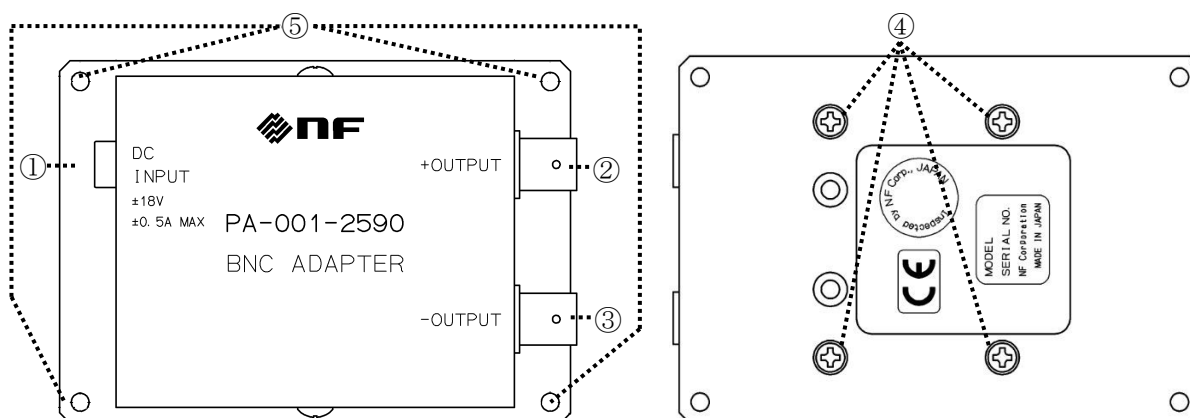


図 3-2 BNC アダプタの正面・背面パネル図

## 3.1.3 バインディングポストアダプタのパネル各部の名称と動作

オプションとして、LP シリーズ電源の出力コネクタをバインディングポスト出力に変換するバインディングポストアダプタ (PA-001-2591) を用意しています。

「図 3-3 バインディングポストアダプタの正面・背面パネル図」をご覧ください。

## ■正面パネル

## ① DC INPUT

入力端子です。LP シリーズ電源の出力とオプションの出力ケーブル A で接続します。コネクタにはヒロセ電機製 HR10-7R-4P(73)を使用しています。接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

## ② +OUTPUT 端子

正側の出力端子です。端子にはバインディングポストを使用しています。接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

## ③ GND 端子

出力 GND の端子です。端子にはバインディングポストを使用しています。接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。出力 GND は筐体に接続されています。

## ④ -OUTPUT 端子

負側の出力端子です。端子にはバインディングポストを使用しています。接続時に無理な力を加えますと損傷しますので、ご注意ください。

## ■背面パネル

## ⑤ (本体取付用ねじ穴)

ボトムプレートを外して本器を直接筐体等に固定する場合は、このねじ穴(M3)を使用してください (筐体に対するねじの挿入長は 5 mm 以下にしてください)。

ボトムプレートを外した場合、本体と取付対象が電氣的に接続されることに注意してください。ボトムプレートは、プラスチックの M3×8 のねじを使用して本体に取り付けられています。

## ⑥ (取付穴)

ボトムプレートを付けた状態で本器を筐体等に固定するための取付穴(M3)です。本器と取付対象を電氣的に絶縁して取り付けすることができます。

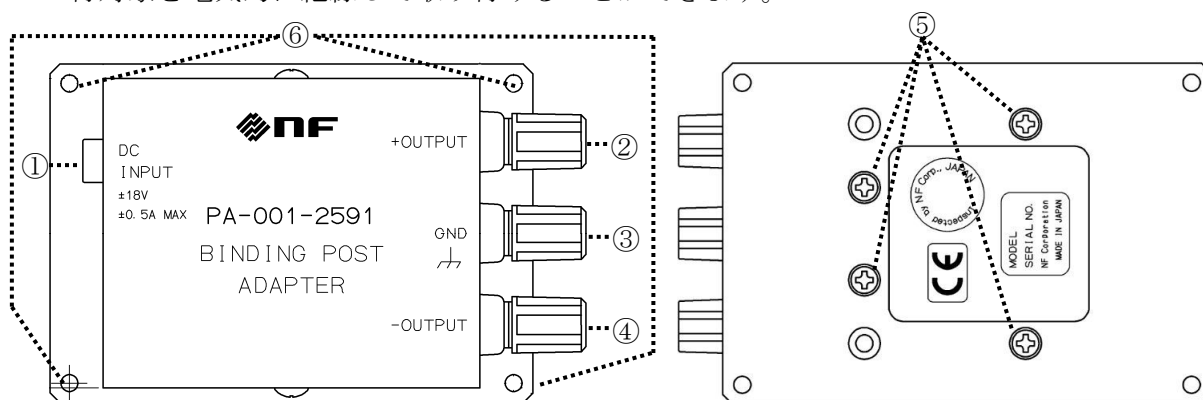


図 3-3 バインディングポストアダプタの正面・背面パネル図

## 3.2 出力コネクタと GND

出力コネクタ周りの内部接続を下図に示します。出力 GND は筐体 GND と  $10\text{ M}\Omega$  で接続しています。出力 OFF 時はコンデンサの放電のため、+OUTPUT 端子と -OUTPUT 端子は各々  $1\text{ k}\Omega$  にて出力 GND に接続されます。出力 GND と筐体 GND 間の耐電圧は  $42\text{ Vpk}$  (DC+ACpeak) です。

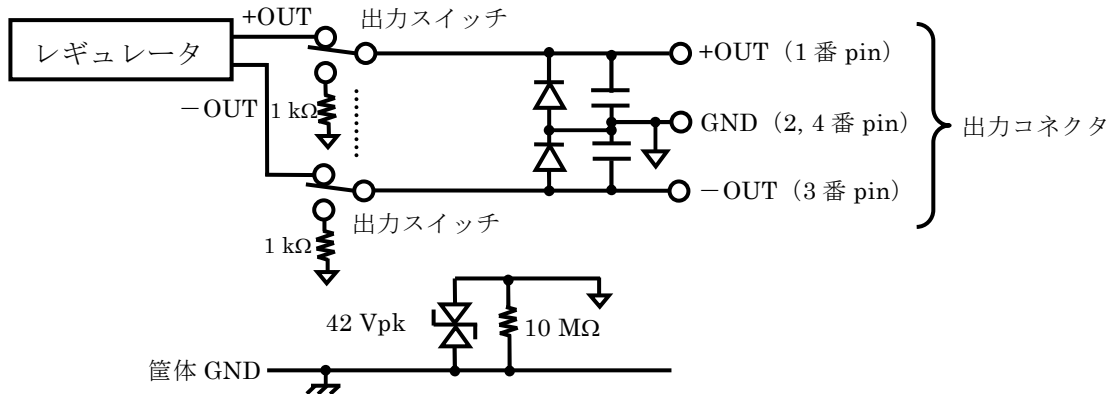


図 3-4 出力コネクタと GND の接続

出力コネクタに接続するコネクタにはヒロセ電機製 HR10-7P-4P(73)を使用し、カチッと音がするまで差し込んでください。取り外すときはコネクタ外周部を持って真っ直ぐ抜いてください。コネクタの外周部分にロック解除機構が付いています。他の部分を引っ張るとケーブルが損傷しますので、ご注意ください。

出力コネクタの外周部は出力 GND と接続されています。

### 警告

感電を避けるため、この製品の出力 GND と筐体 GND 間に  $42\text{ Vpk}$  (DC+ACpeak) を超える電圧を加えないでください。

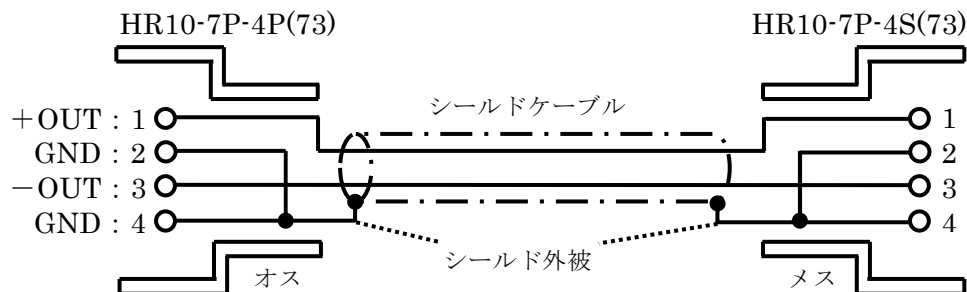
この電圧を超えると、内部の電圧制限素子が働き電圧を抑えようとしますが、加えられた電圧（エネルギー）が大きいと、この製品の電圧制限素子が焼損する場合があります。

### 注意

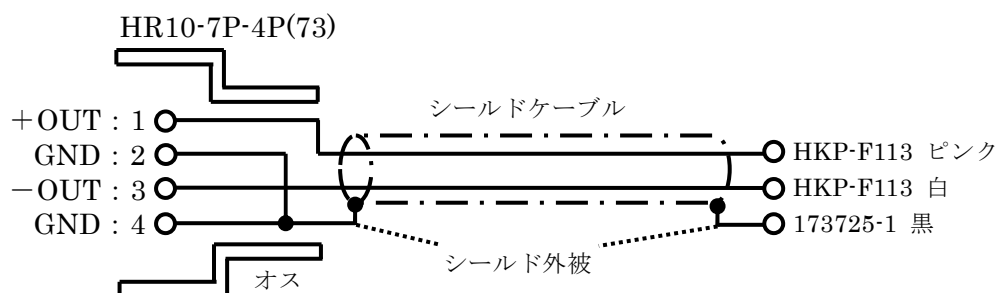
出力コネクタ間に外部から電圧を加えないでください。この製品が破損する恐れがあります。

### 3.3 オプションケーブルの端子と GND

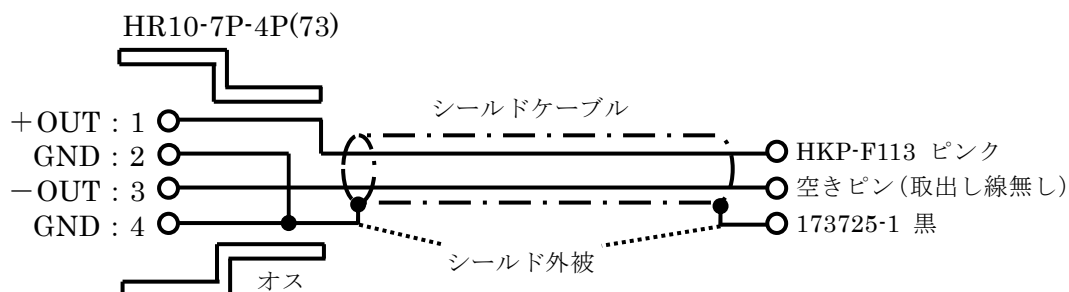
オプションケーブルの端子と出力 GND の接続を下図に示します。左側のコネクタを、当製品の出力コネクタ側に接続します。



(a) 出力ケーブル A (SA-600 シリーズ用)



(b) 出力ケーブル B (SA-230F5 を除く全ての SA-200, 400 シリーズ用)



(c) 出力ケーブル C (SA-230F5 用)

図 3-5 オプションケーブルの端子と出力 GND の接続

全オプションケーブルにおいて、この製品に接続するコネクタはヒロセ電機製 HR10-7P-4P(73)を使用しています。コネクタ外周部分はこの製品の出力 GND と接続されます。

出力ケーブル A (SA-600 シリーズ用) の負荷接続用コネクタには、ヒロセ電機製 HR10-7P-4S(73)を使用しています。コネクタ外周部分は負荷の筐体と接続されます。出力 GND と負荷の筐体は同電位になります。

#### 警告

感電を避けるため、この製品の出力 GND と筐体 GND 間に 42 Vpk (DC+ACpeak) を超える電圧を加えないでください。

この電圧を超えると、この製品の内部の電圧制限素子が働き電圧を抑えようとはしますが、加えられた電圧（エネルギー）が大きいと、この製品の電圧制限素子が焼損する場合があります。

---



## 3.4 出力接続

低雑音の電源を供給するためには、出力のシールドや接続／設置方法が重要です。次のような方法で接続／設置してください。

- 接続には外乱や雑音の混入の低減できるシールドケーブルを用いたオプションの出力ケーブルをお奨めします。ワニ口クリップや非シールド線での接続はお奨めしません。
- 近くに直流電源等トランスを内蔵した機器がある場合は、この製品をできるだけ離して設置してください。
- なるべく振動の少ない場所に設置してください。
- 安定な場所に設置して使用してください。

## 3.4.1 SA-600 シリーズとの接続

この製品を SA-600 シリーズに接続する場合は、専用の出力ケーブル A (オプション PA-001-2372) を用意していますので、当社または当社代理店までお問い合わせください。

出力ケーブル A を用いた場合の接続を下図に示します。SA-600 シリーズを使用するときはこの製品の出力電圧を  $\pm 15\text{ V}$  (VOLTAGE ADJUST 右回し切り) に設定してください。

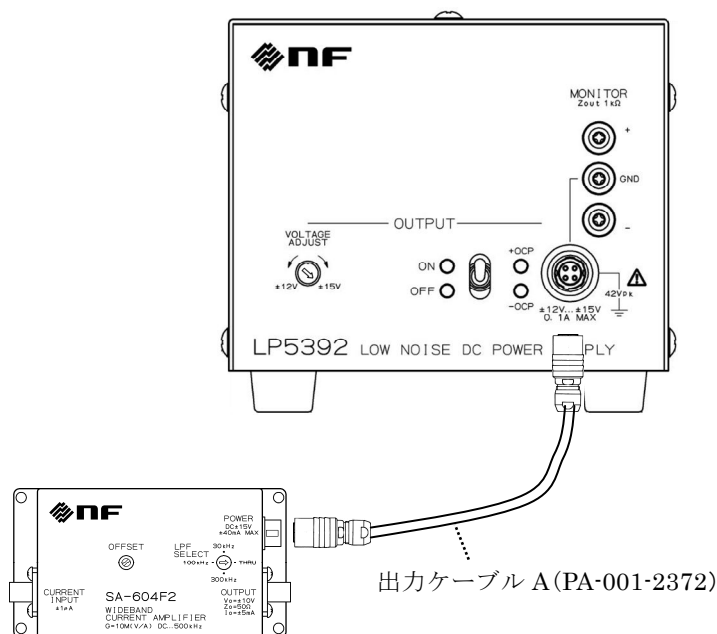


図 3-6 SA-600 シリーズとの接続

### 警告

感電を避けるため、この製品の出力 GND と筐体 GND 間に  $42\text{ Vpk}$  (DC+ACpeak) を超える電圧を加えないでください。

この電圧を超えると、内部の電圧制限素子が働き電圧を抑えようとしますが、加えられた電圧 (エネルギー) が大きいと、この製品の電圧制限素子が焼損する場合があります。

### 注意

出力が ON の状態で、各接続コネクタの抜き差しを行わないでください。SA-600 シリーズを破損する恐れがあります。

## 3.4.2 SA-230F5 を除く SA-200, 400 シリーズとの接続

この製品を SA-230F5 を除く SA-200, 400 シリーズに接続する場合は、専用の出力ケーブル B (オプション PA-001-2373) を用意していますので、当社または当社代理店までお問い合わせください。

出力ケーブル B を用いた場合の接続を下図に示します。SA-230F5 を除く SA-200, 400 シリーズを使用するときはこの製品の出力電圧を±15 V (VOLTAGE ADJUST 右回し切り) に設定してください。

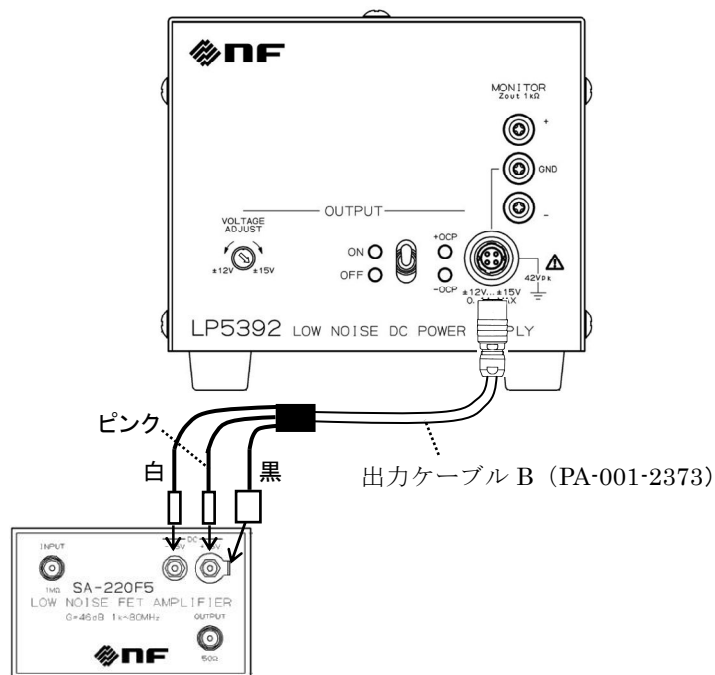


図 3-7 SA-230F5 を除く SA-200, 400 シリーズとの接続

### 警告

感電を避けるため、この製品の出力 GND と筐体 GND 間に 42 Vpk (DC+ACpeak) を超える電圧を加えないでください。

この電圧を超えると、内部の電圧制限素子が働き電圧を抑えようとしますが、加えられた電圧 (エネルギー) が大きいと、この製品の電圧制限素子が焼損する場合があります。

### 注意

出力が ON の状態で、出力コネクタの抜き差し、SA-200, 400 シリーズ側の電源接続・取り外しを行わないでください。SA-200, 400 シリーズを破損する恐れがあります。

SA-200, 400 シリーズに印加する電源を逆接続すると SA-200, 400 シリーズが損傷します。接続の前に、電源の極性を再確認してください。

## 3.4.3 SA-230F5 との接続

この製品を SA-230F5 に接続する場合は、専用の出力ケーブル C (オプション PA-001-2374) を用意していますので、当社または当社代理店までお問い合わせください。

出力ケーブル C を用いた場合の接続を下図に示します。SA-230F5 を使用するときはこの製品の出力電圧を  $\pm 15\text{ V}$  (VOLTAGE ADJUST 右回し切り) に設定してください。

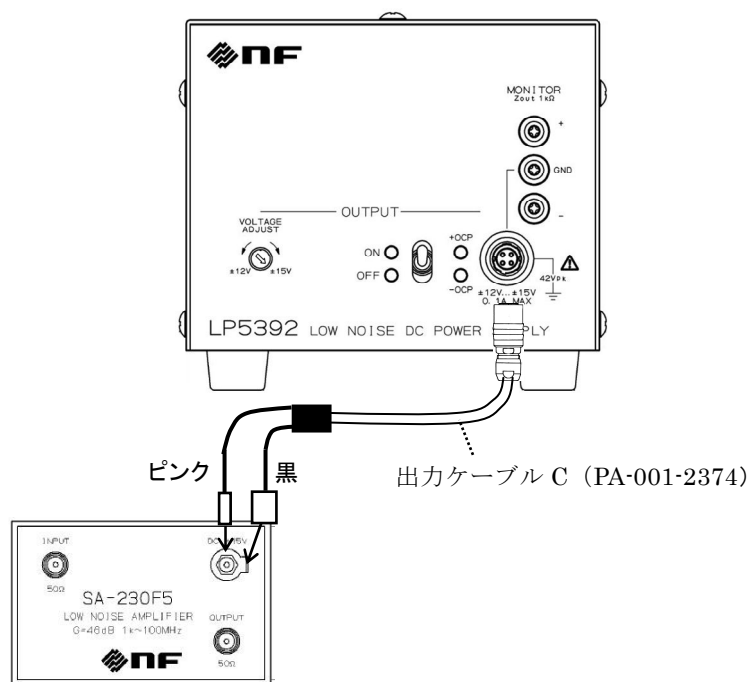


図 3-8 SA-230F5 との接続

### ⚠ 警告

感電を避けるため、この製品の出力 GND と筐体 GND 間に  $42\text{ Vpk}$  (DC+ACpeak) を超える電圧を加えないでください。

この電圧を超えると、内部の電圧制限素子が働き電圧を抑えようとしますが、加えられた電圧 (エネルギー) が大きいと、この製品の電圧制限素子が焼損する場合があります。

### ⚠ 注意

出力が ON の状態で、出力コネクタの抜き差し、SA-230F5 側の電源接続・取り外しを行わないでください。SA-230F5 を破損する恐れがあります。

## 3.4.4 評価キット PA-001-2179 との接続

広帯域電流増幅器 SA-600 シリーズの基板実装タイプとして、CA-550 シリーズと CA-650 シリーズを用意しています。

CA-550/CA-650 シリーズ評価用の評価キット PA-001-2179 を用意しており、この製品で評価キット PA-001-2179 に接続する場合は、出力ケーブル A (オプション PA-001-2372) を用意していますので、当社または当社代理店までお問い合わせください。

出力ケーブル A を用いた場合の接続を下図に示します。評価キット PA-001-2179 に CA-550 シリーズまたは CA-650 シリーズを装着して動作させる場合、この製品の出力電圧を  $\pm 15\text{ V}$  (VOLTAGE ADJUST 右回し切り) に設定してください。

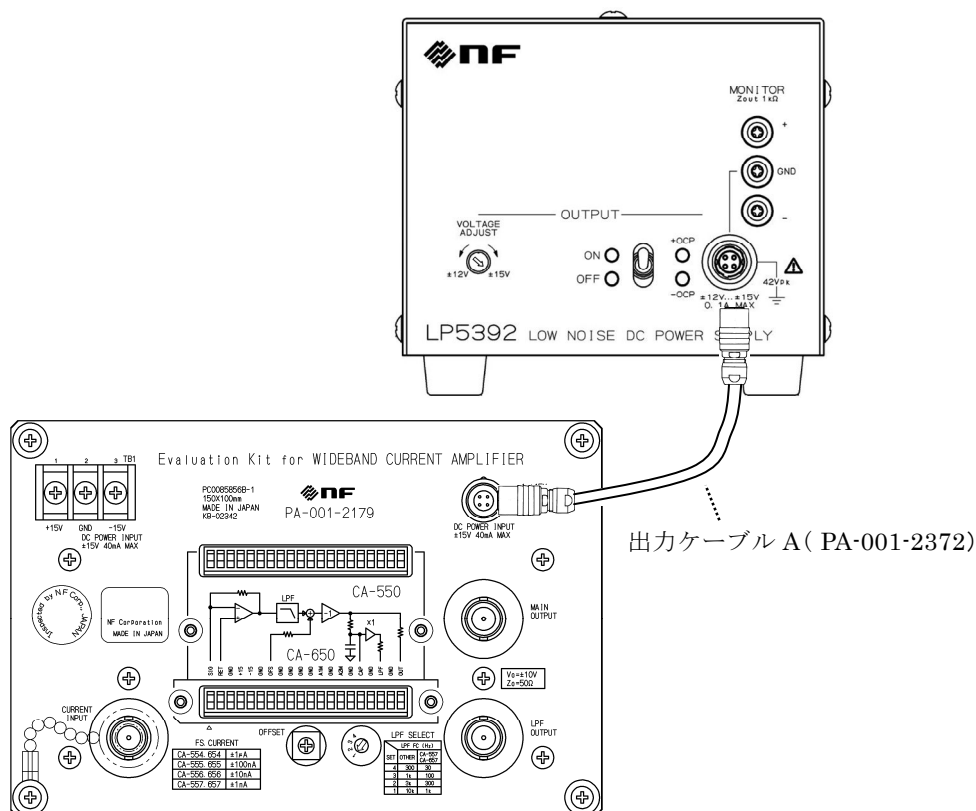


図 3-9 評価キット PA-001-2179 との接続

### 警告

感電を避けるため、この製品の出力 GND と筐体 GND 間に  $42\text{ Vpk}$  (DC+ACpeak) を超える電圧を加えないでください。

この電圧を超えると、内部の電圧制限素子が働き電圧を抑えようとしますが、加えられた電圧 (エネルギー) が大きいと、この製品の電圧制限素子が焼損する場合があります。

### 注意

出力が ON の状態で、各接続コネクタの抜き差しを行わないでください。評価キットに接続しているモジュールを破損する恐れがあります。

## 3.4.5 BNC アダプタとの接続

オプションとして、この製品の出力を BNC コネクタ出力に変換する BNC アダプタ (PA-001-2590) を用意しています。

この製品で BNC アダプタに接続する場合は、出力ケーブル A (オプション PA-001-2372) を用意していますので、当社または当社代理店までお問い合わせください。

出力ケーブル A を用いた場合の接続を下図に示します。

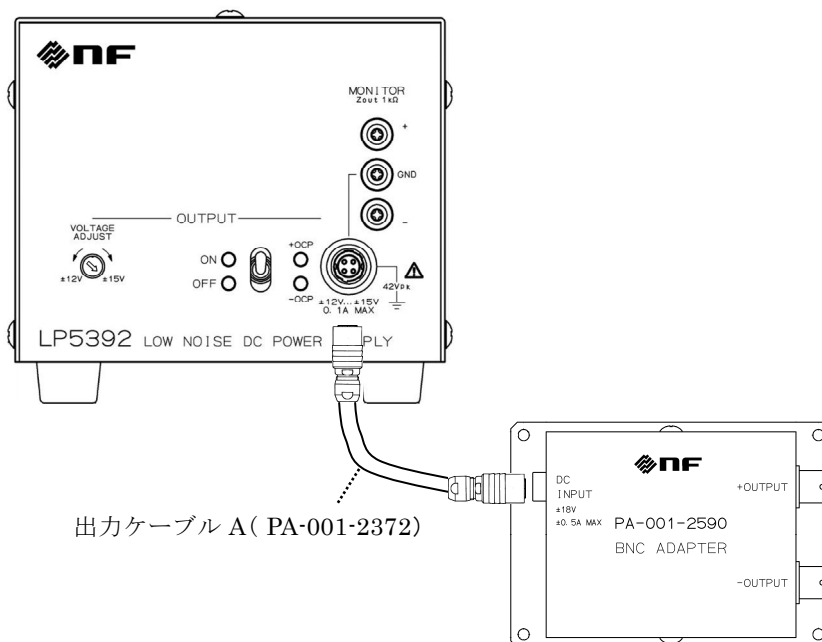


図 3-10 BNC アダプタとの接続

**警告**

感電を避けるため、この製品の出力 GND と筐体 GND 間に 42 Vpk (DC+ACpeak) を超える電圧を加えないでください。

この電圧を超えると、内部の電圧制限素子が働き電圧を抑えようとしますが、加えられた電圧 (エネルギー) が大きいと、この製品の電圧制限素子が焼損する場合があります。

**注意**

BNC アダプタの筐体は出力 GND と同電位となります。出力 GND に電圧をかけて使用する場合はこの製品の筐体 GND と接続しないでください。

## 3.4.6 バインディングポストアダプタとの接続

オプションとして、この製品の出力をバインディングポスト出力に変換するバインディングポストアダプタ (PA-001-2591) を用意しています。

この製品でバインディングポストアダプタに接続する場合は、出力ケーブル A (オプション PA-001-2372) を用意していますので、当社または当社代理店までお問い合わせください。

出力ケーブル A を用いた場合の接続を下図に示します。

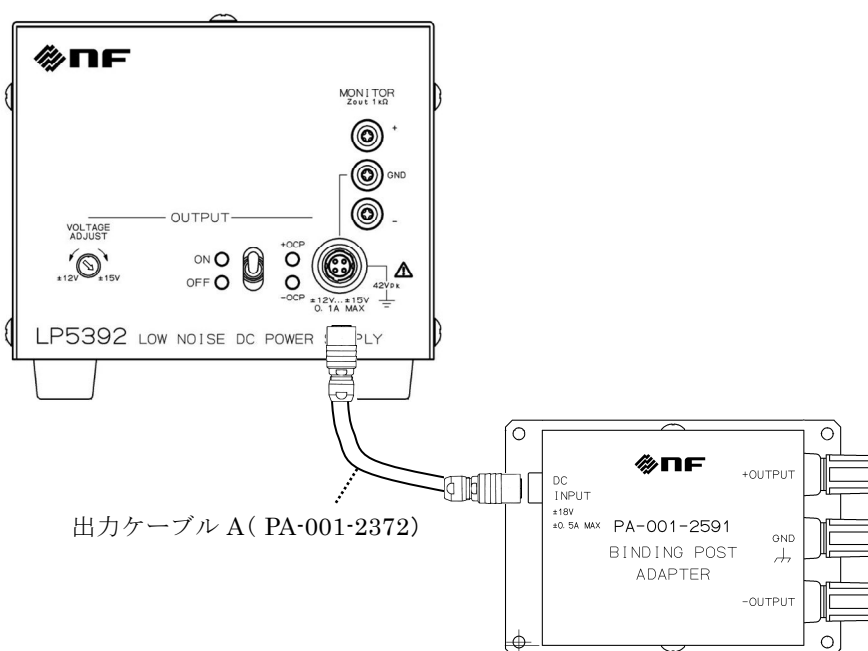


図 3-11 バインディングポストアダプタとの接続

### 警告

感電を避けるため、この製品の出力 GND と筐体 GND 間に 42 Vpk (DC+ACpeak) を超える電圧を加えないでください。

この電圧を超えると、内部の電圧制限素子が働き電圧を抑えようとしませんが、加えられた電圧 (エネルギー) が大きいと、この製品の電圧制限素子が焼損する場合があります。

### 注意

バインディングポストアダプタの筐体は出力 GND と同電位となります。出力 GND に電圧をかけて使用する場合はこの製品の筐体と接続しないでください。

## 3.5 電源の投入とウォームアップ時間について

この製品は電源投入直後から仕様を満たす性能で動作しますが、出力電圧安定度 $\pm 50$  ppm以内を必要とする場合は30分以上ウォームアップしてから使用してください。

長時間ドリフト特性の詳細は標準データの図6-4を参照してください。

## 3.6 保護動作と表示

### 3.6.1 過電流保護

この製品の出力電流が約 $\pm 0.15$  A以上になると、過電流保護機能がONすると共にOCP LEDが点灯し、この製品の定格電流を超えていることを表示します。

過電流保護機能は約 $\pm 0.15$  Aの垂下特性で、過電流保護機能がONするとOCP LEDが点灯します。出力電流が約 $\pm 0.1$  A以下になると過電流保護機能がOFFして通常動作に自動復帰します。

OCP LEDが点灯した場合、OUTPUTスイッチをOFFにして、出力負荷がこの製品の定格を超えていないこと、接続に間違いがないことを確認してください。

#### — 注意 —

出力がONの状態、各接続コネクタの抜き差しを行わないでください。この製品または接続している負荷を破損する恐れがあります。

### 3.6.2 過熱保護

この製品の内部温度が $75$  °C以上になると、出力が停止し、OUTPUT OFF LEDが点滅します。温度センス素子のヒステリシス特性により、内部温度が $45$  °C以下になると、通常動作状態に自動で復帰します。

過熱保護機能は長時間の負荷短絡や、室温 $50$  °C以上での連続運転で発生します。過熱保護機能が動作した場合、環境条件と出力負荷が仕様内であるかを確認してください。

#### — 注意 —

仕様 ( $0\sim+50$  °C,  $5\sim 85$  %RH 但し絶対湿度は $1\sim 25$  g/m<sup>3</sup>) を超える環境状態でこの製品を使用すると、この製品が故障する恐れがあります。



## 4. 保 守

4.1	はじめに .....	4-1
4.2	日常の手入れ .....	4-1
4.3	保管・再梱包・輸送 .....	4-1
4.4	故障と思われるとき .....	4-2

## 4.1 はじめに

●この章では、次のことについて記載しています。

- ・長期間使用しないときの注意事項や保管方法について。
- ・輸送するときの再梱包と輸送上の注意事項について。

簡単な動作チェックについては、2.4 項をご覧ください。

動作チェックや性能試験を満足しないときは、当社に校正または修理を依頼してください。

## 4.2 日常の手入れ

●パネルやケースが汚れたとき

柔らかな布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。

シンナーやベンジンなどの揮発性の溶剤や化学雑巾などで拭くと、変質したり塗装が剥がれたりすることがありますので、絶対に使用しないでください。

## 4.3 保管・再梱包・輸送

●長期間使用しないときの保管

- ・電源コードをコンセントおよびこの製品から外してください。
- ・棚やラックなど、落下物やほこりのないところに保管してください。  
ほこりをかぶるおそれがある場合は、布やポリエチレンのカバーをかけてください。
- ・保管するときは、温度変化の激しいところや直射日光の当たるところなどは避け、なるべく常温の環境で保管してください。

●再梱包・輸送

移動や修理依頼などのために再梱包するときは、次の点に注意してください。

- ・この製品をポリエチレンの袋またはシートで包んでください。
- ・この製品の重さに十分耐え、寸法的に余裕のある段ボール箱をご用意ください。
- ・この製品の6面を保護するように緩衝材を詰めて包装してください。
- ・輸送を依頼するときは、この製品が精密機器であることを運送業者に指示してください。

## 4.4 故障と思われるとき

次のような故障と思われる症状のときは、“必要な処置”を実行してみてください。それでも回復しないときは、当社または当社代理店に連絡してください。

表 4-1 故障と思われるときの対処表

症状	考えられる原因	必要な処置
+OCP LED 又は -OCP LED が点灯	出力電流が 0.15 A 以上となっている	出力を OFF にし、接続する負荷を電流 0.1 A 以下にしてください。
OUTPUT OFF LED が点滅	高温状態になっている	周囲温度を 50 °C 以下にしてください。放熱を妨げる設置になっている場合、放熱環境を改善してください。内部温度を下げるため、この製品の周囲温度を 50 °C 以下で 2 時間以上放置し、冷やしてから使用することが必要ことがあります。
電源が入らない	ヒューズが溶断している	ヒューズホルダ内にあるヒューズが溶断しているか確認し、必要であれば交換してください。 印加する商用電源電圧が合っているかご確認ください。

### ⚠ 警告

この製品の内部には、高電圧の箇所があります。カバーは絶対に取り外さないでください。内部を点検する必要があるときでも、当社の認定したサービス技術者以外は内部に触れないでください。



## 5. 仕様

5.1	LP5392 の仕様	5-1
5.1.1	方式	5-1
5.1.2	出力	5-1
5.1.3	入力	5-1
5.1.4	その他	5-2
5.2	BNC アダプタの仕様	5-4
5.2.1	定格	5-4
5.2.2	環境条件	5-4
5.2.3	寸法, 質量	5-4
5.2.4	規格	5-4
5.2.5	回路図	5-4
5.3	バイディングポストアダプタの仕様	5-5
5.3.1	定格	5-5
5.3.2	環境条件	5-5
5.3.3	寸法, 質量	5-5
5.3.4	規格	5-5
5.3.5	回路図	5-5
5.4	外観図	5-6
5.4.1	LP5392 の外観図	5-6
5.4.2	BNC アダプタの外観図	5-7
5.4.3	バイディングポストアダプタの外観図	5-8

## 5.1 LP5392 の仕様

特記なき場合は、出力電流：±0.1 A

### 5.1.1 方式

シリーズレギュレータ

### 5.1.2 出力

#### 5.1.2.1 電圧・電流

電圧	調整器右回し切り ±15 V ±1 % 調整器左回し切り ±12 V ±1 %
電圧調整方法	正面パネルの調整器による
最大電流	±0.1 A
出力 ON/OFF	正面パネルのスイッチによる
出力モニタ	正面パネルの MONITOR 端子による (Z <sub>out</sub> =1 kΩ)

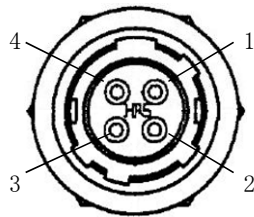
#### 5.1.2.2 定電圧特性

入力変動 (電源 ±10 % に対して)	±3.5 mV 以内
負荷変動 (負荷 0~100 % に対して, 負荷 0 % 基準)	±15 mV 以内
リップルノイズ (負荷 0~100 %, 帯域幅 10 Hz~20 MHz)	10 μV <sub>rms</sub> 以下 (typ.)
出力電圧温度係数	±20 ppm/°C (typ.)
時間ドリフト (ウォームアップ後 8 時間)	±50 ppm (typ.)

#### 5.1.2.3 出力コネクタ

HR10-7R-4S(73)

正面パネルに搭載



ピン番号と接続

- 1 : +OUT
- 2 : GND
- 3 : -OUT
- 4 : GND

図 5-1 ヒロセ電機製 HR10-7R-4S(73)のピン番号と接続

### 5.1.3 入力

#### 5.1.3.1 電源

入力電圧	AC 100 V ±10 %
周波数	50/60 ±2 Hz
消費電力	25 VA 以下
過電圧カテゴリ	II

#### 5.1.3.2 ヒューズ

タイムラグ 0.315 A 定格電圧 250 V φ5.2×20 mm

## 5.1.4 その他

## 5.1.4.1 絶縁抵抗

電源入力一括 対 筐体	50 MΩ以上 (DC 500 Vにて)
電源入力一括 対 直流出力	50 MΩ以上 (DC 500 Vにて)
出力 GND 対 筐体	10 MΩ

## 5.1.4.2 耐電圧

電源入力一括 対 筐体	AC 1500 V 1分間
電源入力一括 対 直流出力	AC 1500 V 1分間
出力 GND 対 筐体	±42 Vpk (DC+ACpeak)

## 5.1.4.3 保護機能

過電流保護	垂下特性(約 0.15 A)自動復帰型
過電流状態の表示	正面パネルの+OCP LED, -OCP LEDによる
過熱保護	内部温度約 75 °Cで出力 OFF
過熱保護表示	正面パネルの OUTPUT OFF LED が点滅 (自動復帰)

## 5.1.4.4 環境条件

高度	2000 m 以下
動作温度範囲	0~+50 °C
動作湿度範囲	5~85 %RH 但し絶対湿度は 1~25 g/m <sup>3</sup> , 結露無きこと
保存温度範囲	-10~+60 °C
保存湿度範囲	5~95 %RH 但し絶対湿度は 1~29 g/m <sup>3</sup> , 結露無きこと
冷却方式	自然空冷
汚染度	2 (屋内使用)
ウォームアップ時間	30 分

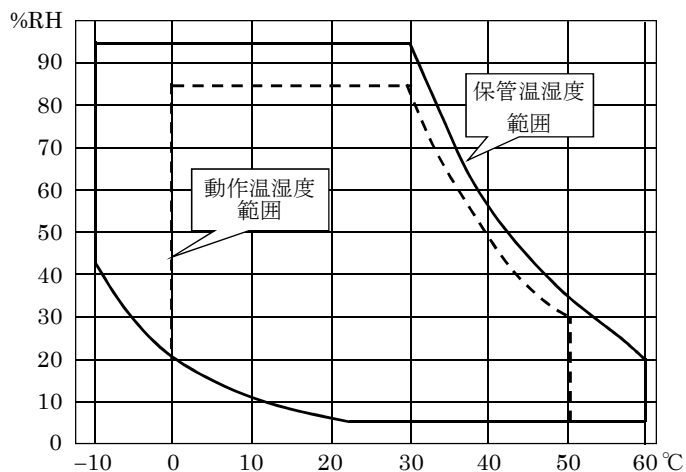


図 5-2 温湿度範囲説明図

5.1.4.5 寸法, 質量

外形(W×H×D)	107×86×330 mm (突起物は除く)
質量	約 1.6 kg (附属品は除く)

5.1.4.6 規格

RoHS	Directive 2011/65/EU
安全性	JIS C 1010-1:2014 に準拠



## 5.2 BNC アダプタの仕様

### 5.2.1 定格

入出力電圧	±18 V
入出力電流	±0.5 A

### 5.2.2 環境条件

動作温度範囲	0～+50 °C
保存温度範囲	-10～+60 °C
汚染度	2 (屋内使用)

### 5.2.3 寸法, 質量

外形(W×H×D)	ボトムプレート付き : 100×30×70 mm (突起物は除く) ボトムプレート無し : 78×26×64 mm (突起物は除く)
質量	約 230 g

### 5.2.4 規格

RoHS	Directive 2011/65/EU
------	----------------------

### 5.2.5 回路図

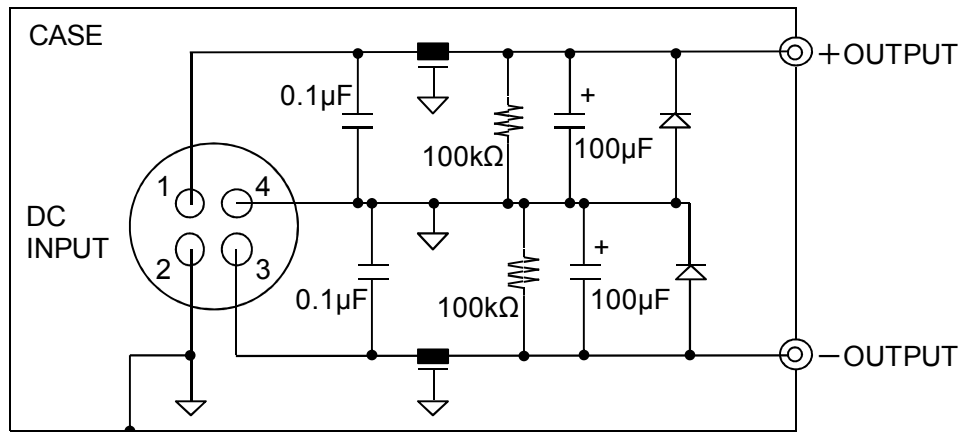


図 5-3 BNC アダプタの回路図

## 5.3 バインディングポストアダプタの仕様

### 5.3.1 定格

入出力電圧	±18 V
入出力電流	±0.5 A

### 5.3.2 環境条件

動作温度範囲	0～+50 °C
保存温度範囲	-10～+60 °C
汚染度	2 (屋内使用)

### 5.3.3 寸法, 質量

外形(W×H×D)	ボトムプレート付き : 100×30×70 mm (突起物は除く) ボトムプレート無し : 78×26×64 mm (突起物は除く)
質量	約 240 g

### 5.3.4 規格

RoHS	Directive 2011/65/EU
------	----------------------

### 5.3.5 回路図

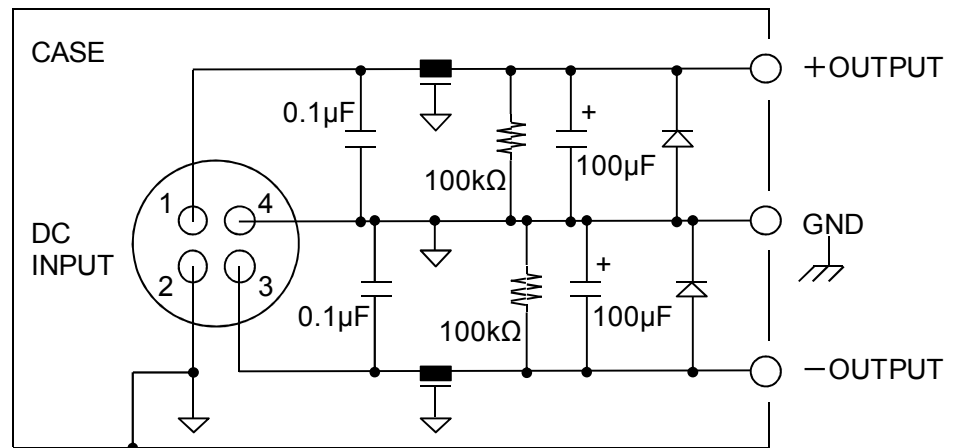


図 5-4 バインディングポストアダプタの回路図

5.4 外観図

5.4.1 LP5392 の外観図

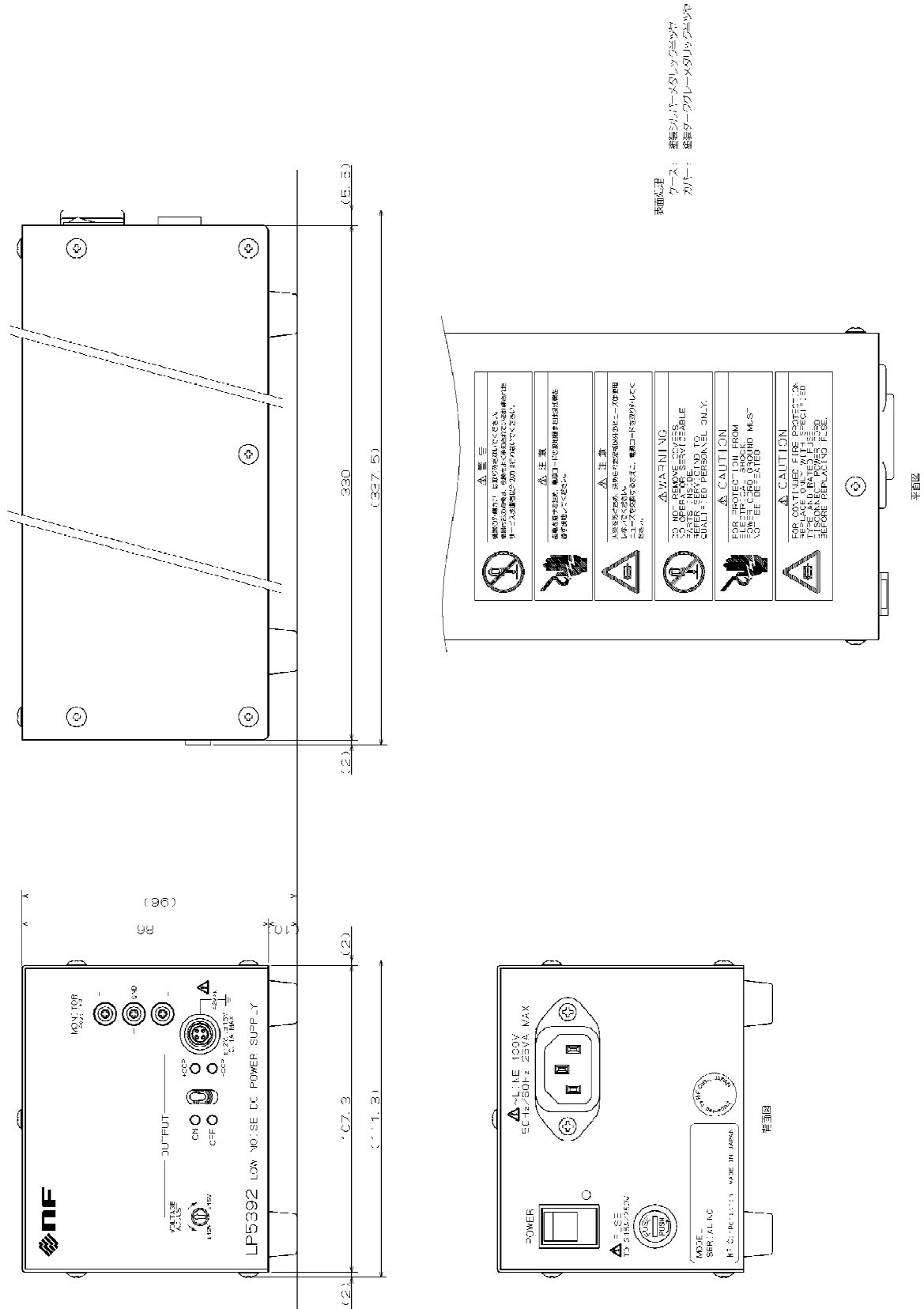
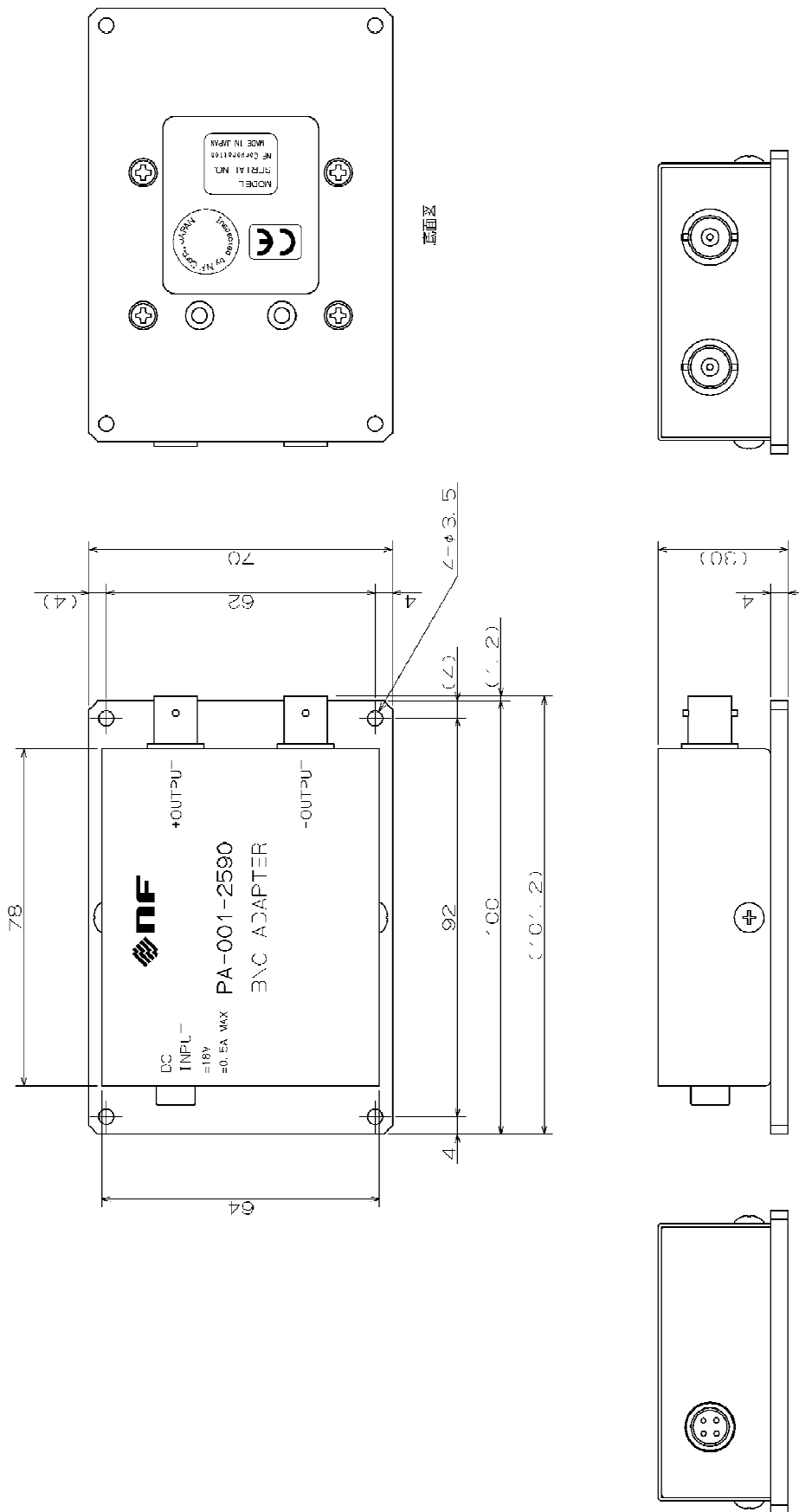


図 5-5 LP5392 の外観図

5.4.2 BNCアダプタの外観図



表面処理  
 ケース：塗装 ウルトラライトグレー（マンデル6、OPB9、2/O、1半ツヤ）  
 ベース：黒色ポリカーボネート

図 5-6 BNCアダプタの外観図

5.4.3 バインディングポストアダプタの外観図

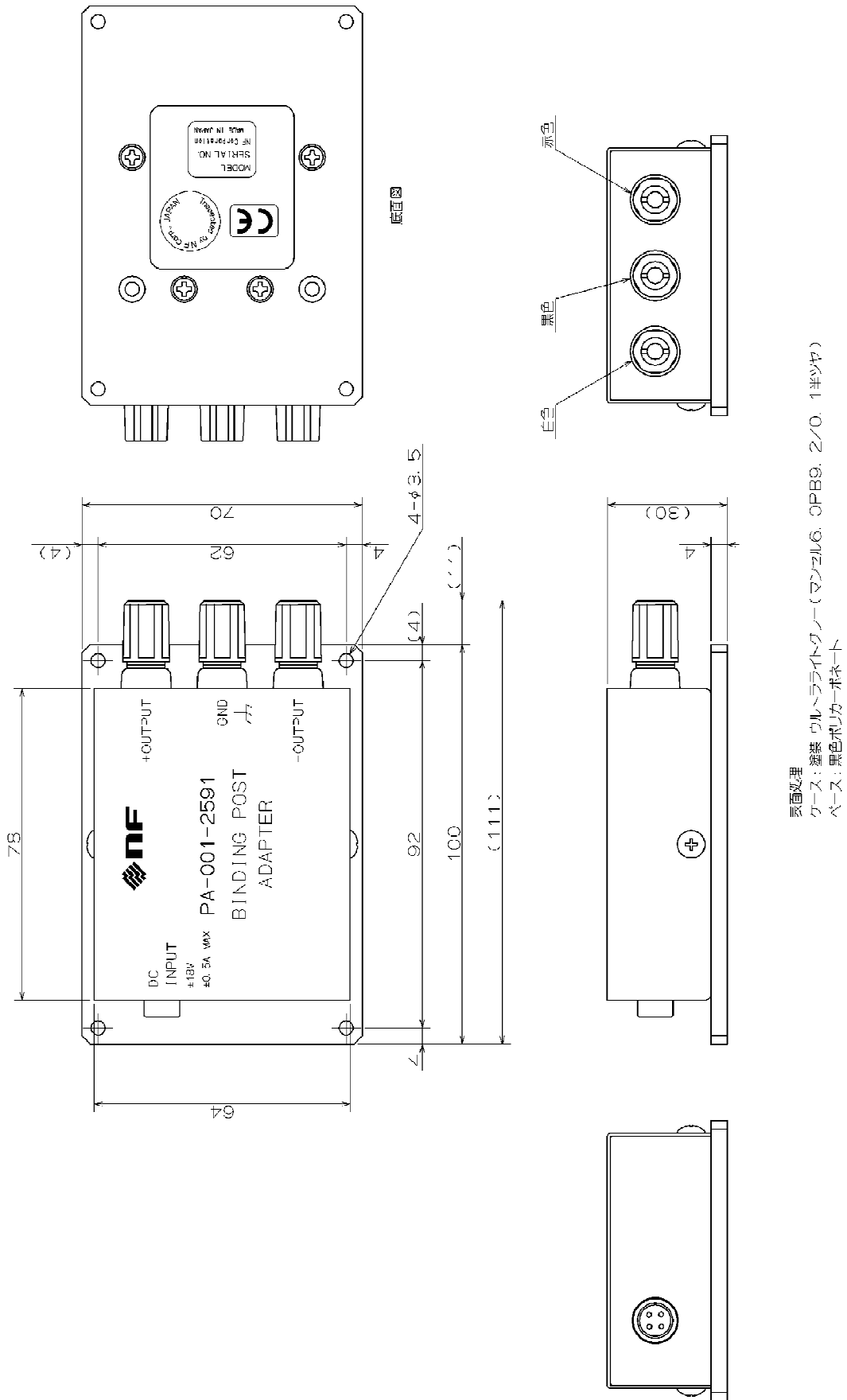


図 5-7 バインディングポストアダプタの外観図



## 6. 標準データ

6.1	標準データについて.....	6-1
6.2	出力雑音電圧波形.....	6-1
6.3	出力雑音電圧密度 周波数特性.....	6-2
6.4	長時間ドリフト特性.....	6-2
6.5	温度ドリフト特性.....	6-3

## 6.1 標準データについて

この製品の代表的な性能について、標準的なデータを参考として記載しています。このデータは、製品の性能を個々に測定しますと、平均的にこの値を示すというものです。場合によっては、お持ちの製品の性能がこのデータに達していないこともあります。全数、厳重な試験を行い、仕様を満足していることを確認して出荷しておりますのでご了承ください。

## 6.2 出力雑音電圧波形

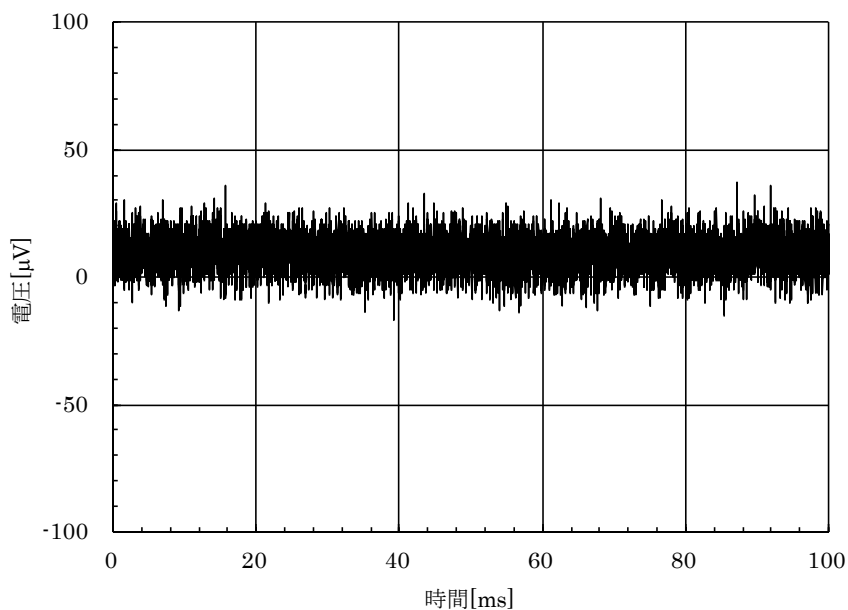


図 6-1 出力雑音電圧波形（+15V 出力，定格負荷，帯域幅 10Hz～20MHz）

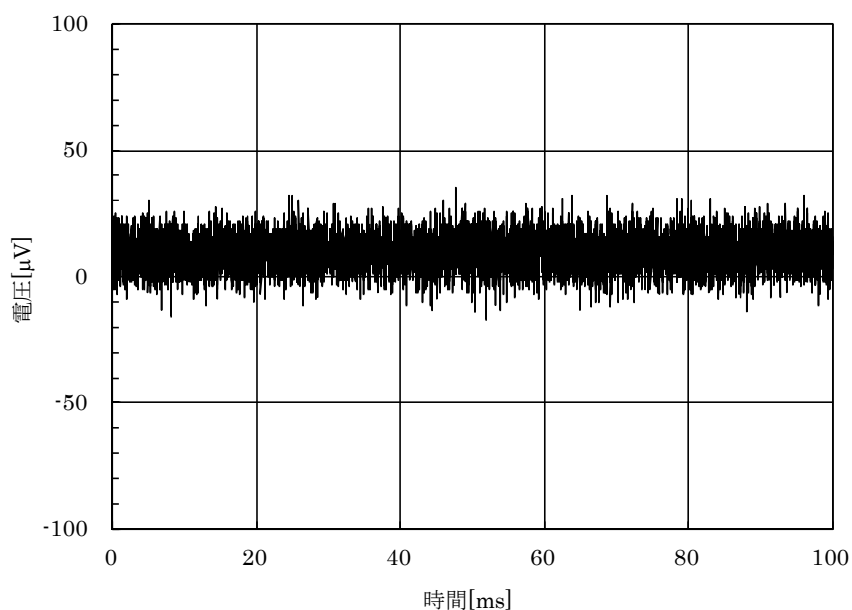


図 6-2 出力雑音電圧波形（-15V 出力，定格負荷，帯域幅 10Hz～20MHz）



## 6.3 出力雑音電圧密度 周波数特性

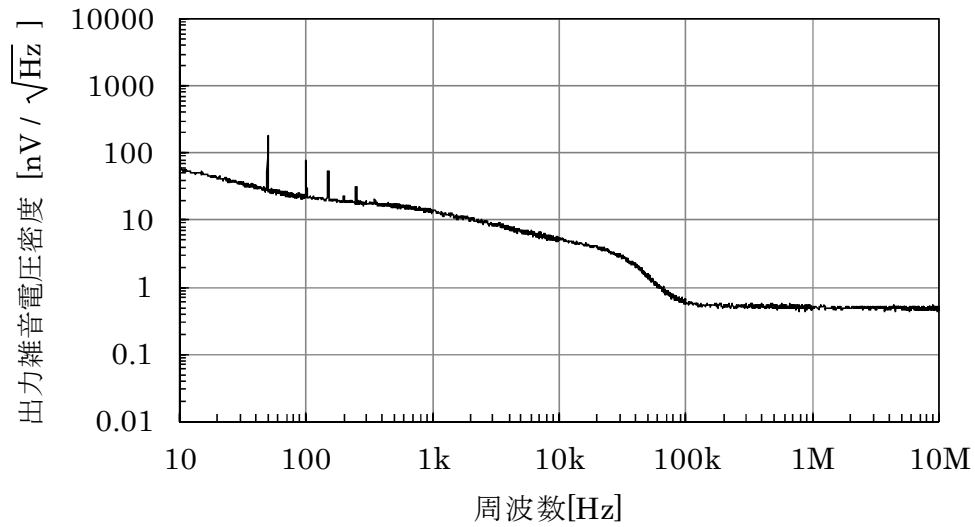


図 6-3 出力雑音電圧密度 周波数特性 (+15V 出力, 定格負荷)

## 6.4 長時間ドリフト特性

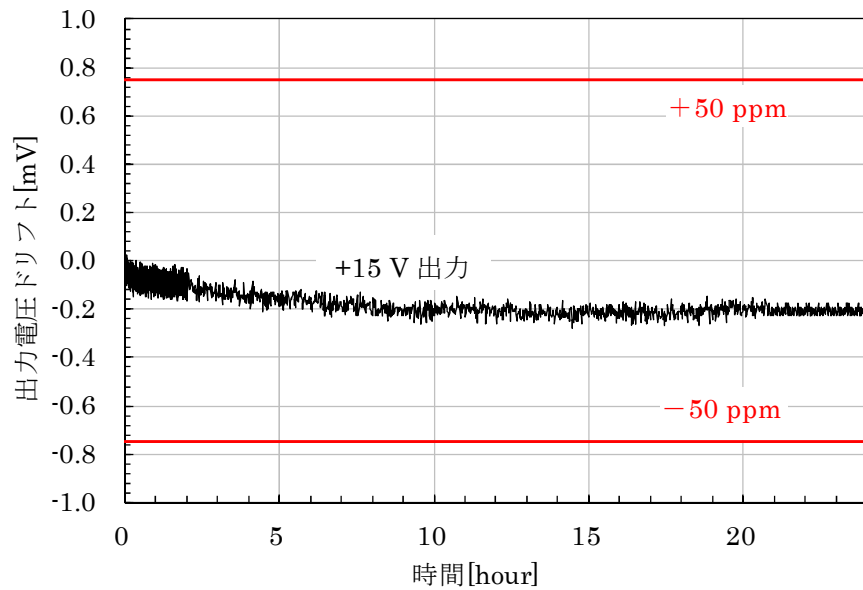


図 6-4 長時間ドリフト (定格負荷, 電源 ON から 30 分後の出力電圧基準)

## 6.5 温度ドリフト特性

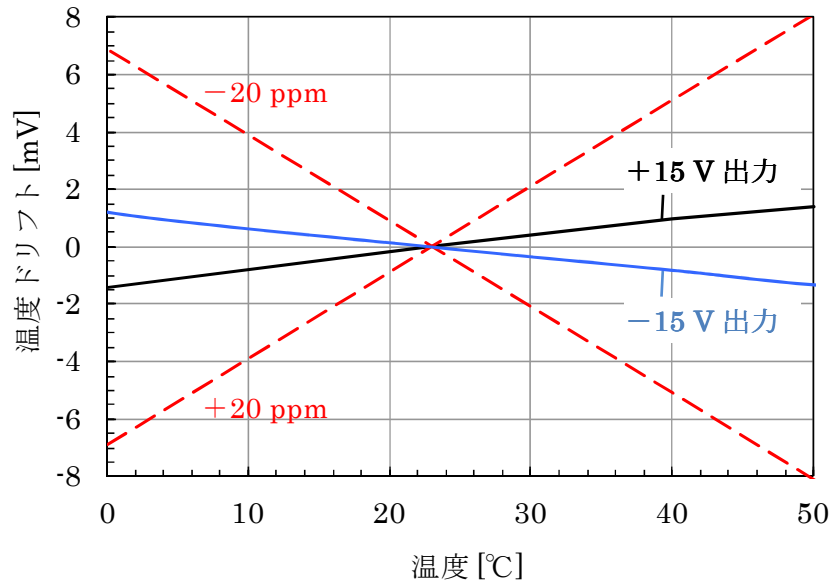


図 6-5 温度ドリフト特性 (定格負荷)

# — 保 証 —

この製品は、株式会社 エヌエフ回路設計ブロックが十分な試験および検査を行って出荷しております。

万一製造上の不備による故障または輸送中の事故などによる故障がありましたら、当社または当社代理店までご連絡ください。

当社または当社代理店からご購入された製品で、正常な使用状態において発生した部品および製造上の不備による故障など、当社の責任に基づく不具合については納入後 1 年間の保証をいたします。

この保証は、保証期間内に当社または当社代理店にご連絡いただいた場合に、無償修理をお約束するものです。

なお、この保証は日本国内においてだけ有効です。日本国外で使用する場合は、当社または当社代理店にご相談ください。

次の事項に該当する場合は、保証期間内でも有償となります。

- 取扱説明書に記載されている使用方法、および注意事項に反する取扱いや保管によって生じた故障
- お客様による輸送や移動時の落下、衝撃などによって生じた故障、損傷
- お客様によって製品に改造が加えられている場合
- 外部からの異常電圧およびこの製品に接続されている外部機器の影響による故障
- 火災、地震、水害、落雷、暴動、戦争行為、およびその他天災地変などの不可抗力的事故による故障、損傷

## — 修理にあたって —

万一不具合があり、故障と判断された場合やご不明な点がありましたら、当社または当社代理店にご連絡ください。

ご連絡の際は、型式名(または製品名)、製造番号(銘板に記載の **SERIAL No.**)とできるだけ詳しい症状やご使用の状態をお知らせください。

修理期間はできるだけ短くするよう努力しておりますが、ご購入後 5 年以上経過している製品のときは、補修パーツの品切れなどによって、日数を要する場合があります。

また、補修パーツが製造中止の場合、著しい破損がある場合、改造された場合などは修理をお断りすることがありますのであらかじめご了承ください。

---

## お 願 い

---

- 取扱説明書の一部または全部を，無断で転載または複写することは固くお断りします。
- 取扱説明書の内容は，将来予告なしに変更することがあります。
- 取扱説明書の作成に当たっては万全を期しておりますが，内容に関連して発生した損害などについては，その責任を負いかねますのでご了承ください。

もしご不審の点や誤り，記載漏れなどにお気づきのことがございましたら，当社または当社代理店にご連絡ください。

---

## LP5392 取扱説明書

株式会社 エヌエフ回路設計ブロック

〒223-8508 横浜市港北区綱島東 6-3-20

TEL 045-545-8111(代)

<http://www.nfcorp.co.jp/>

© Copyright 2014-2016, **NF Corporation**



